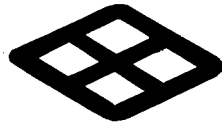


合織糸・合織混紡糸



田村紡績株式会社

社長 田村 正衛

四日市市東茂福町10-17
TEL 四日市 6-2156(代表)
郵便番号 512

道へのンヘンミュン

いよいよオリンピックは組合せ抽せんもおわり、まさに秒読みの段階に入ってきた。

ミュンヘンを目指し、36年ぶりのオリンピックをめざしてきたここ数年の日本ハンドボール界の夢が一応は実現することになる。

ともかくにも、人数その他の難問はあるが、夢はまがりなりにも実現したのである。

ここに来て、何のかんのいったところではじまらない。与えられた条件の中でベストをつくさざるを得ない。

過去四度、当ってはくだけてきたベスト8の壁は今回もユーゴ、ハンガリーの両国をたおさないことには実現しない。両国とも過去の実績からいって十分に可能性のあるチームだ。抽せんは願ってもない組み合わせと云えよう。

この上は選手団諸君を全国のハンドボールフアン応援で、心おきなく戦い、ハンドボール界の宿願であったベスト8入りを果してもらおうことしか道はない。最大限の努力をそれぞれの持ち場で払わねばなるまい。ベストエイト入りを果せば、そこから先の見通しは開いてこ

よう。とにかく、予選リーグで3勝すること、これが最大の目標となろう。

ここでもう一度、ハンドボール界にとって、オリンピックとは何なのかを考えておく必要がある。既に何度も触れたとおり、ハンドボール界にとって、オリンピック出場もしくは、上位入賞がそれ自身で、目的ではなかった筈である。それでは、一体何が目的なのか。それは、それぞれの立場、またそれぞれの考え方によつて、異つてこよう。しかしながら、各人が意識しているかいないかは別問題として、オリンピック自体がそれだけで目的ではない筈である。

あるいは普及のために有効な手段たりうると考えている人、あるいは今後の世界最上位への一ステップと考えている人、人それぞれ自己の頭のなかで描いているハンドボールの理想を達成するための一つの大きな導程にオリンピックを考えていることと思う。確かにオリンピック上位に入賞することで、それらは大きく一歩を踏み出すことになる。

将来のハンドボール界のためにも最低ベストエイト入り、あわよくばメダルのおみやげを期待したいものである。(藤本)

時評

ダンケルセン・シリィズの最終戦(4月8日、大阪、対全日本)は、国内で行われた国際試合にはめざらしいラフ・ファイトとなり、しかもハイタイム、終了後と2回にわたってスパヌス・ダンケルセンヘッドコーチが審判員を批難、後あじをいつそう悪いものにした同ヘッドコーチは記者団に対し「ルール解釈は西ドイツとまったく同じだが、全日本が反則を犯してもとらないのに、われわれの選手にはとるケースが多すぎた」と語り興奮気味だった。

日本を訪れたヨーロッパチームで日本の審判について、はっきりとクレームをつけたのは初めてといつてよい。

もちろん、当日の両審判員は信念をもって判定をくだしたのであり、会場の観衆や、テレビでこの一戦を観たファンも「日本偏重とは思わない」というのだが、ここらが国際試合の難しさである。

ところで審判員は判定解釈だけが正しければいいものなのだろうか。このゲームがもし公式国際試合であつたら大きなトラブルを招いたかもしれないとすら人もいえる。筆者が問題にしたのはその点だ。

ジャッジに対するダンケルセンの抗議は筋違いとしても、試合の進行がとげとげしく荒っぽいものになってしまったのは、これは誰がなんといつても審判の責任である。なぜなら、フェアに試合を進ませるため「絶対の権限」を審判員は誰にためらうことなく行使できるからだ。乱暴なプレーが繰り返されながら反則退場者一人というのはいかにもナマぬるいし、ダンケルセン選手が判定に挑発的な態度を露骨に示したにもかかわらず言葉の不自由さからか厳然たる措置をとらなかつたのも肯けない。

ヨーロッパ通の人たちは「本場では乱闘寸前の試合もある」といひ、村田全日本ヘッドコーチも「この程度のラフプレーはしじゅうだ」と気にしていないのだが、そうした傾向が正しいものでないことは本誌前号のこの欄ではつきりしている。つまりらぬ面だけヨーロッパ流にならず、まっさきに見習うべきは、粗暴なプレーの流行を自分たちの責任と反省、レフェリングの高度化に精進している各国審判団の姿であらう。ハンドボールとプロレスは反則のやり得だなどという揶揄はブレイヤーの恥ではなく審判員の恥なのだ(又)

「ハンドボール」

5月号(第97号)目次

ミュンヘンへの道	(1)
時評	(1)
オリンピック組合せ決まる	(2)
オリンピック	(3)
第2次候補発表	(4)
晴れの代表6月11日決定	(7)
全日本男子	(7)
欧州遠征を断念	(8)
二つの日韓交流	(9)
全日本自衛隊選手権	(10)
全国中学生大会	(12)
ダンケルセン戦後記	(12)
ラフプレーの原因	(17)
日独試合総記録	(18)
たくましくなった全日本	(21)
競技規則の改訂：安藤純光	(22)
ヨーロッパ予選をみて	(24)
海外トピックス	(28)
竹野奉昭	(24)
明日への提言(投書欄)	(29)
全日本女子、貫録勝ち	(30)
熊本の総合合宿	(31)
各地の記録	(31)
編集後記	(32)

【表紙写真】肩を並べる日独の主力選手―右から木野、ムンク、近森。ダンケルセン最終戦後の交歓で木野、ムンク両選手は相手チームのユニホームを着ている(4月8日・大阪市中央体育館で。撮影：光島磯雄)

日本の相手国(予選リーグ)決まる

「ミュンヘンオリンピック組合せ」

ユーゴ、ハンガリー、アメリカ

国際ハンドボール連盟(IHF)とミュンヘンオリンピック組織委員会は4月22日ミュンヘンのグロツサーピアターザール・スポーツハウスでミュンヘンオリンピックハンドボール競技の予選リーグ組み合せ抽せんを行った。その結果日本はユーゴスラビア、ハンガリー、アメリカとともにD組となつた。各組2位までが準決勝リーグへ、各組3位が9、12位決定トーナメントへ、各組4位が13、16位決定トーナメントへ進む。()内は一九七〇年の世界選手権における順位。

- ◇A組 デンマーク(4位)、スウェーデン(6位)、ソビエト(10位)、ポーランド。
 - ◇B組 東ドイツ(2位)、チェコスロバキア(7位)、アイスランド(11位)、チュニジア。
 - ◇C組 ルーマニア(1位)、西ドイツ(6位)、ノルウェー、スペイン。
 - ◇D組 日本(10位)、ユーゴスラビア(3位)、ハンガリー(8位)、アメリカ。
- (注)日本の試合順序はユーゴ(8月30日)、ハンガリー(9月1日)、アメリカ(9月3日)。

(試合スケジュールは本誌5頁参照)

ラッキーな顔合せ

○……聖火のもとで日本の競う相手国が決まった。

組み合せは本誌前号既報のとおり参加16ヶ国を2年前の世界選手権の順位を基準に4つのランクに分け、各ランクから1ヶ国づつ抽き分けて決められた。

世界選手権10位の日本は第3ランク(ソビエト、アイスランド、ノルウェーと同じ)に属し苦手にピエトとの対戦をはじめからさけることができ、関係者は第1ランク(ルーマニア、東ドイツ、ユーゴスラビア、デンマーク)で

はデンマークかユーゴ、第2ランク(西ドイツ、スウェーデン、チエコ、ハンガリー)ではハンガリーかスウェーデンを抜きあてればと願っていた。まさにそのとおりとなり、これはどのラッキーはあるまい。

○……これまでユーゴとは1勝1分、ハンガリーとは1勝2敗1分、アメリカとは1勝の成績。

各国戦力のレベルアップを考えれば過去のデータがそのまま通用するとは思わぬが、負い目、がないだけでも気楽なはずだ。

浅からぬ因縁・ユーゴ

補にあげられていた同国と再び大激戦、17-17で引き分け、センセ

ショナルな話題をまいた。

○……ハンガリーとの4試合はいずれも接戦、しかも最近3試合は1勝1分1敗(総スコアは65-75)と互角を示し、日本にとって勝負の充分に立つ相手といえよう。

アメリカは、今回の出場国のなかではチュニジアとともに、もっともやりやすいチームとみられていた。(藤本 強)

これまでの対戦記録

▽対ユーゴ(2試合)
日 本 19(13-18) ユーゴ 18(11-18)

日 本 17(9-17) ユーゴ 17(9-17)

▽対ハンガリー(4試合)
日 本 30(16-14) ハンガリー 25(13-12)

日 本 24(10-14) ハンガリー 23(10-13)

日 本 21(12-9) ハンガリー 21(10-11)

日 本 17(12-5) ハンガリー 17(10-7)

日 本 21(11-10) アメリカ 15(11-8)

日 本 21(12-9) ハンガリー 21(10-11)

▽対アメリカ(1試合)

日 本 21(11-10) アメリカ 15(11-8)

ベスト8が射程距離に

「組み合せ決定」を聞いた関係者は次のように話している。

荒川理事長……ルーマニア、東ドイツとからまねばいけないと踏んでいただけに願ってもない組み合せだ。ベスト8がこれではっきり射程距離に入ったといえる。ユーゴ、ハンガリーの両方から勝ち点をあげるのも夢ではなからう。アメリカにとりこぼすようなことはまずあるまい。

村田オリンピック対策部長……ベスト8入りはフィフティ・フィフティと見ていたが、この組み合せなら70%近い確率が生まれたといつてよいのではないか。メンバーに変動はあるだろうがこの3年以内にいずれも対戦している国なのはありがたい。恵れたクジ運といえる。

杉山企画担当常務理事……ユーゴには不利、ハンガリーには有利、アメリカ戦は油断しなれば大丈夫。オリンピックという檜舞台で宿願のベストエイト入りを果たすことができそう。金メダル争いは世界選手権と同じルーマニア×東ドイツになりそう。

オリンピック第2次候補を発表

代表選考大詰へ

日本協会は4月28日東京で「ミュンヘン・オリンピック第2次候補選手」18名(GK 4、FP 14)を発表、晴れのオリンピック代表選手はこの18名のなかから6月11日に選考することも明らかにした。ミュンヘンへの道はいよいよ最終段階へ進んだわけだ。

発表された18名は、当初の方針どおり、先に決定の「昭和47年度ナショナルプレイヤー」(25名)のなかから選ばれたものである。

オリンピック第2次候補選手

▽GK (4名)

下里敏彦	(25)	184cm	熊本市商一大崎電気
本村洋久	(25)	179	日体大一大阪イーグルス
大村久明	(23)	178	日体大一大山梨教員ク
馬淵豊明	(23)	180	立教大一大「全立教」

▽FP (14名)

木野森田	実彦	(26)	180	立教大一大ワクナガ薬品
近飯田	克誠	(26)	183	芝浦工大一大崎電気
東野田	敏一	(26)	188	同志社大一大崎電気
早川	清孝	(26)	179	立教大一大崎電気
藤中	二	(25)	170	立教大一大同製鋼
有永	修二	(24)	180	日体大一大ワクナガ薬品
齋藤	光武	(23)	178	日体大一大同製鋼
中井	三男	(23)	187	立教大一大東京海上火災
水海	正行	(23)	183	日体大一大群馬教員ク
新実	武俊	(22)	180	同志社大一大同製鋼
大江	隆夫	(22)	180	日体大一大千葉教員ク
佐木	健一	(22)	180	芝浦工大一本田技研
		(22)	171	芝浦工大一大三菱レイ
		(22)	172	明星高一大中央

第1次候補選手(1月19日発表)がそのままナショナルプレイヤーに推されたこともあり、7名が改めてふるい落とされたわけだが、選考にあたってはオリンピック対策部では、すでに3月のT.H.W.キール戦で20名、4月のG.W.ダンケルセン戦で18名とメンバーをほぼって来ており2月の強化合宿を以て三段階の選考を経たことになる、といっている。結果的にはダンケルセン戦の全日本がそのまま第2次候補(最終候補)となつたわけだ。

第1次候補選手(1月19日発表)がそのままナショナルプレイヤーに推されたこともあり、7名が改めてふるい落とされたわけだが、選考にあたってはオリンピック対策部では、すでに3月のT.H.W.キール戦で20名、4月のG.W.ダンケルセン戦で18名とメンバーをほぼって来ており2月の強化合宿を以て三段階の選考を経たことになる、といっている。結果的にはダンケルセン戦の全日本がそのまま第2次候補(最終候補)となつたわけだ。

学生界からは佐々木一人

第2次候補で注目されるのは現役学生が佐々木(中大4年)一人になってしまった点だ。

花輪(中大)が惜しくも選にもれ、しかも昨シーズン活躍した新実(芝工大一大木田技研)、大江(芝工大一大三葉レイオン)、氷海(日体大一大千葉教員ク)、馬淵(立教大一大千葉教員ク)、馬淵(立教大一大千葉教員ク)、馬淵(立教大一大千葉教員ク)、馬淵(立教大一大千葉教員ク)らが学窓を卒えて社会人となり、1月の選考時点でオリンピックへの即戦力という考えから若手の登用をおさえたのも影響している。長いあいだ日本ハンドボール界の最頂点を占めていた学生界が、その座を社会人(実業団)に譲ったともいえ、時の流れを強く感じさせられる。

激しい代表争いを予想

日本協会でははじめ、第2次候補選手は、5月のヨーロッパ遠征選手として15名前後を発表、帰国後代表選手を選考することにしたのだが、同遠征がとりやめになったため(本誌7頁参照)、構想を変更して18人をリストアップ、この中から代表選手を選ぶ方針を固めた。

別掲(4頁)のように代表選手

の人数は11名か12名か現時点では未定だが、いずれの場合でもGKだけは2名の線が確定、4者のポジション争いがはつきりしている。FPについても9~10名の数字は動かないだけに14選手の激しい競争は最後までつづきそうである。選考方法などは5月の常務理事会で話合われよう。

微妙になったコーチの派遣

コーチングスタッフについては日本オリンピック委員会(JOC)からの配分では補助コーチ1名を加えて一応2名確保されているが選手権の1名減をこのワクナガからバーすべきだ。

という意見が支配的で、コーチの派遣はがぜん微妙な問題になってきた。5月13日の月例常務理事会での協議が注目されよう。

なお、コーチングスタッフは1月14日の月例常務理事会でオリンピック対策部の村田弘、竹野奉昭両氏のほか、村田氏から勝繁夫、渡辺慶寿、北川勇喜の3氏を第一次(2月)、第2次(3月)合宿のためコーチに加えるよう荒川理事長に要望があった。第三次(4月)でも特に異動は発表されず、6月11日まで合宿は1回だけというところから、この五氏がそのまま残り、コーチをミュンヘンに送る場合は、このなかから選ばれる公算が強くなった。

鹿児島国体参加に特例

日本協会では4月14日の月例常務理事会でオリンピック選手の内試合出場について協議、次のように決定した。

- 一、オリンピック出場選手は6月26日以降オリンピック終了まで一切の国内試合出場を規制する。
- 一、オリンピック出場選手は第27回国体(10月23~27日・鹿児島県隼人町)には、都道府県及びプロック予選会に出場してはなくても参加を認める。

全日本代表選手の国内試合出場

規制についてはこれまで替否両論があり、日本協会執行部ではむしろ「規制無用」の声が強く、今シーズンはこれまでナショナルプレイヤー(オリンピック候補)の出場についてはまったく制限をくわえていなかった。

しかし、オリンピックの直前は規制を布いて最後の仕上げに専念したいというオリンピック対策部の意向をうけられた。

国体については実施要項・総則第5項の6「特に定められる者のほか、都道府県予選(地区予選会を含む)を通過した者であること」下略」の冒頭部分を適用、参加への道を開いた。

オリンピック代表

6月11日、全国会議(評議員会)で決定

史上初のオリンピック代表選手は42日後の6月11日正式決定されることになった——日本ハンドボールチームのミュンヘンオリンピック出場選手数は本誌前号速報のとおり日本オリンピック委員会(JOC)によって役員1名、選手11名(役員1は選手を兼ねることもできる)と決定したが、日本協会は4月14日の月例常務理事会で荒川理事長から経過報告をうけたあと、オリンピック代表の選考について約2時間にわたり協議した。

その結果、代表の決定は6月11日東京に全国評議員会、同理事会(場合によっては合同会議)を招集して行うことを決めた。(注・会議招集は5月20日付の予定) ながい議論となったのは役員1のワクをコーチ兼選手として「12

選手数決定経過と解説
オリンピックへの参加を決め、申しこめるのはその国のオリンピック委員会だけである。
日本のハンドボール界は、永年の夢を突らせてアジア予選に勝ち抜き出場権を獲得したが、その時点でミュンヘンの道が通じたわけ

名「プレイヤー」を送るか「役員1、プレイヤー11」とするかだ。いずれも一長一短がある。各常務理事(出席15名)の意見が分かれたため次回(5月13日)まで研究課題として保留された。しかし、次回でも議論百出となり容易に結論は導き出せないものと予想され、その場合は荒川理事長が「決断」するか、あるいは6月11日まで二本建てのまま進むことも充分に考えられる。

止(本誌7頁参照)によって新たな方針が必要となり、この日の会議では、基本線として5月22日からの強化合宿(47年度第2次、6月4日まで名古屋を予定)を、最終資料にオリンピック対策部と荒川理事長らが「原案」をつくることになる模様。
肝心の選手数に不鮮明さはあるが、いよいよ晴れの代表決定の時がせまって来た——。

荒川理事長の話 選手数を11とするか12とするかは実に重大な問題だ。会議では1人でも選手を多く送り強行日程(最低5試合)に備えるべきだという意見と、選手に雑務を含む監督任務を負はせるのは酷でむしろ戦力的にもマイナスだとする声に分かれた。補助コーチ1名のワクがとれたこともあり最善の「選手団」を編成するよう検討したい。

次回の合宿を最終資料に
全国会議招集日の決定で最終承認の段どりは整えられたが、それまでの手順としては、欧州遠征の中ではない。
日本オリンピック委員会(JOC)がどう評価するか。日本協会首脳陣は昨秋以来今日までかなり深刻な表情であった。
日本のスポーツ界における斯界の立ち場は歴史の浅さ、オリンピック参加経験なしというハンデも手伝って決して強いものではな

こまれていたのである。

注・この公文書は45年10月盛岡で開いた全国評議員会、同理事会で田村会長、荒川理事長から報告されていた)
ミュンヘン出場にどうやらメドがついたのは「今春1月、政府の体協予算復活があった時」(荒川理事長)といい、それでも田村会長と荒川理事長は2月の全国評議員会、同理事会席上では楽観した発言を控えている。

JOCの「作業」は札幌オリンピック終了後の二月末から始まったようだ。
3月7日、ミュンヘンオリンピックで実施される21競技のうち日本が出場できる19競技と各国内団体と個別予備折衝が行われた。

日本協会からは荒川理事長、村田オリンピック対策部長が出席、JOC強化委員会と約30分間の話し合いで日本ハンドボール界の国際的水準、全日本チームの強化現況などを説明した。
この時は、派遣について正式な態度表明はなかったが、「世界6位のスウェーデンに1勝3敗という資料が評価されたと思う」(村田部長)

東京オリンピックでは、いちは実施が決まりながら種目削減という「悪夢」にあっている。「アジア予選で出場権を獲得してもオリンピック参加については改めて検討する」(JOC45年9月26日付公文書)という「一本の釘」も首脳陣の頭のなかには、重く打ち

派遣選手数の185人を上廻らない範囲で全競技に参加する」との選手団編成を明らかにしたのである。翌18日、駒沢屋内球技場で行われたキール対全日体大戦に姿を見せた荒川理事長は、喜びというよりホットしたと形容するほうがよい表情で、いかにアジア予選以後同理事長がこの問題に腐心していたか察せられた。

派遣決定後の問題は「人数」。すでに発表されていたハンドボール競技実施要項では1国役員2名、選手16名までのエントリーが認められており、日本協会もJOC、日本体協などにはその数字を申し入れてあつたが、前述のとおり選手団編成方針として「185人」というワクがはめられた以上、フルエントリーは望むべくもなかった。

7日の話し合い席上、強化委側は競技規則に定められた「ベンチへ入れる人数」(注・12名)を一つの線として示しており、荒川、村田両氏は「14名」を強く要望したこともあり3月21日の常任委と荒川理事長の折衝は大いに注目された。

正式に参加が決定したのは3月17日のJOC常任委員会。
同委が「メキシコオリンピック

派遣選手数の185人を上廻らない範囲で全競技に参加する」との選手団編成を明らかにしたのである。翌18日、駒沢屋内球技場で行われたキール対全日体大戦に姿を見せた荒川理事長は、喜びというよりホットしたと形容するほうがよい表情で、いかにアジア予選以後同理事長がこの問題に腐心していたか察せられた。

派遣決定後の問題は「人数」。すでに発表されていたハンドボール競技実施要項では1国役員2名、選手16名までのエントリーが認められており、日本協会もJOC、日本体協などにはその数字を申し入れてあつたが、前述のとおり選手団編成方針として「185人」というワクがはめられた以上、フルエントリーは望むべくもなかった。

7日の話し合い席上、強化委側は競技規則に定められた「ベンチへ入れる人数」(注・12名)を一つの線として示しており、荒川、村田両氏は「14名」を強く要望したこともあり3月21日の常任委と荒川理事長の折衝は大いに注目された。

正式に参加が決定したのは3月17日のJOC常任委員会。
同委が「メキシコオリンピック

予想下回る派遣人数

役員1、選手11。示された数字は予想もしていなかったものである。荒川理事長はこの算出根拠の説明を求める一方「1日おきに試

ミュンヘンオリンピック ハンドボール競技日程

(本誌調べ・時間は現地時間)

▼予選リーグ(4組)	
▽第1日(8月30日)=大会第5日	
第1試合 19時	} (4会場一斉)
第2試合 20時15分	
▽第2日(9月1日)	
時間など第1日と同じ	
▽第3日(9月3日)	
時間など第1、2日と同じ	
▼準決勝リーグ及び順位決定予備戦	
▽第4日(9月5日)=準決勝リーグ第1日	
第1試合 15.30	
第2試合 16.45	
第3試合 20.00	
第4試合 21.15	
▽第5日(9月6日)=順位決定予備戦日	
第1試合 15.30	} 13~16位決定予備戦
第2試合 16.45	
第1試合 20.00	} 9~12位決定予備戦
第2試合 21.15	
▽第6日(9月7日)=準決勝リーグ第2日	
時間などは第4日と同じ	
▼順位決定戦	
第7日(9月8日)	
13.14位決定戦 15.30	
11.12位決定戦 16.45	
15.16位決定戦 20.00	
9.10位決定戦 21.15	
▽第8日(9月9日)	
7.8位決定戦 10.00	
3.4位決定戦 11.30	
5.6位決定戦 21.00	
1.2位決定戦 23.00	

(注) 第4日以降の会場はすべてミュンヘン

合が行われる。GK、FPという競技者の特殊性。レギュラーだけではなく控選手を含めた総合戦力がポイントである点を強調。再考を期待した。

これに対し常任委は「実績のない種目と金メダル有望種目以外ではできるだけ人数を制限する」という精鋭主義、金メダル重点の実績優先主義を明らかなにし、「金メダル有望」に該当しない球技はベンチ入りできる人数から一名減が基本線、その他の云いぶんも「各競技共通の問題でハンドボールだけ例外にはできない」とはねつけた。

荒川理事長は「実績とは何か、ハンドボールは今回が初参加である」と質問したが「初出場即資料なし」とされ、数分の押し問題が

繰り返されただけだった。あくまでフルエントリーに近い線を望む荒川理事長の「役員1、選手12」も認められず、さらに「3~5名の選手の自費参加を認めてもらえないか」との発言も「前例がない。選手団の統制上問題がある」ということで却下された。「悪くても役員1、選手12」と踏んでいた日本協会の見直しは金メダル重点主義に押し流される結果となり、3月30日のJOC総会で正式決定となった。

「ハンドボール初参加の道を開くJOCの評価には改めて感謝の意を表するものだが、派遣人数については釈然としない」という荒川理事長の総会後の発言は斯界を代表した声といえよう。

たしかに、ベンチへ入れる人数

から1名減という方針は筋を通したようであった。現場を知らない数字といえる。

19競技にフルエントリーするとその数は52人に及ぶといわれ、これは実現性がないとしても球技ならば、せめて「戦力として最低の人数」を派遣する配慮があっても「精鋭主義」に反しはしなかったと思う。ハンドボールの場合、12人におさえてもすでに4名減なのである。

戦力的マイナスは明らか
どう活かす「補助コーチ」
役員1、選手12と決まって日本協会のオリンピック構想はある面から出直してである。

その意味を含んで荒川理事長はJOC総会席上(注・渡辺和JOC委員の代理出席)役員1をコーチ兼選手にふりかえ選手12名としてもよい「か」と発言し承を得ている。別掲のようにミュンヘンでのハンドボール競技は8月

30日の第1戦以降原則として1日おきに行われる。技倆のほかスタミナ、精神力が上位進出には必要だ。すさまじいばかりの国際試合、ましてやオリンピックという檜舞台であれば全16ヶ国がメダルを狙つてしのぎをけずる。エキサイトした展開は必至であり残念なことながら負傷者を予想しなくてはならない。16名を引きつれる各国に比べて戦力的マイナスは明きらかだ。その場合、4月26日のJOC総会で認められた「補助コーチ」のワクをどう活かすかが一つのカギとなる。

ミュンヘンに参加できたのだから、と喜んではいられない。例えば3月初めの時点では出場資格があるにもかかわらずウオーター・ポロ、ヨット、ボートなどは8位以内の見込みがうすいとして「派遣ゼロ」であったと伝えられる。ミュンヘンでよい成績をおげないとモンテリオールのハンドボールは樂觀を許さない。

オリンピック派遣費は貴重な国庫からのもの、すでにオリンピックが「参加することに意義」といった時代でないのも判るが、すべて「勝利」を基準にモノを考えることが正しいとは思わない。

限られた範囲でベストエイトを目指しに最善をつくすか。日本ハンドボール界の前途はいぜんけわしいようである。(杉山)

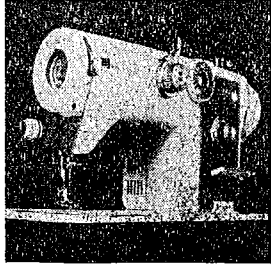
フット・ワークをスピーディにリードする
特殊彫刻モールド底

ハンドベアー

¥1,500

神戸ベアー株式会社 東京





鍛えぬかれたフォームにこそ、
メカの真髓がある

■ジューキミンは精密工学の結晶とうたわれる高級品。シャープなスタイリングで、その名を高めています。

ジューキ

 東京重機工業株式会社

全日本男子 (オリンピック候補)

欧州遠征を断念

受け入れ態勢整わず

日本協会は5月に予定した全日本男子(オリンピック候補)のヨーロッパ遠征を取りやめることに決めた。

この遠征はオリンピック強化対策の「仕上げ」ともなるべきもので各方面から成果が注目されていたのだが、オリンピック対策部が希望した相手国のうち「焦点」とみられたルーマニア、チェコスロバキアが「受け入れ不能」という返電を寄せたほかノルウェーは1試合、西ドイツはクラブチームならという条件づきだった。

この4強とノルウェー、ポーランドの計6ヶ国に、5月10日頃から各国2試合、約4週間の遠征をプランニングした。ところが各国ともすでにオリンピックに照準をあてた綿密な強化日程を編成済みなためか4月中旬までに日本の希望の全面的受け入れを承諾して来た国はスウェーデンとポーランドだけ。

日本協会は4月14日の月例常務理事会で善後策を協議、相手側がナショナルチームまたは準ナショナルチームでなければ強化の対象にならない、他国と交渉する時間的余裕はないなどの理由から中止の方向に傾き、村田オリンピック対策部長も「少くとも5ヶ国に遠征しなければ無意味」であるとしたため、各国の返電を4月20日まで待つ結論を出すことになった。

しかし20日になっても進展はなく、荒川理事長、久田国際担当常務理事らが21日全日本コーチングスタッフと会い、最終的な意見を求めた。若手コーチは、たとえ2、3ヶ国でも遠征を希望したが、結局、各国に改めて打電したうえで受け入れが5ヶ国にならない場合は「中止」とすることを了承、その結果27日までにノルウェーはナショナルと1試合だけ、西ドイツはGW・ダンケルセン(4月来日)ハンブルグSVならばという返事にとどまり中止と決まった。

今回の遠征計画は、長身選手に対するディフェンス、若手選手にキャリアをつまらせる、チームワークをより固めるなど上位入賞のための「計画」がもりこまれていたものだが、一方で各国に日本の手の内を知らずのはマイナス、選手の疲労などを理由に消極的な意見もあった。なお、遠征中止で5月以降の強化合宿の日程を変更するかどうかは近くコーチング・スタッフが協議する。また、ナショナルチームの「公式戦」がオリンピックまでまったく予定されないことになるためNHK杯(6月24、26日・大阪)への特別出場を再検討するよう一部から意見が出されたが見送られた。

◇

オリンピックで上位入賞を果たすにはどうしても事前のヨーロッパ遠征が必要、というオリンピック対策部の提案は昨秋の全国理事会、同評議員会にも出されていたが、予算的な裏付けがないままに年を越した。今春3月に入って林副会長(実連会長)をはじめとする実業団オーナーの理解でどうか遠征費のメドがついたのだが、今度は相手側の事情で中止せざるを得なくなったのは残念である。日本協会としては、今春早々有力実業団が中心となって計画した欧州遠征にストップをかけた事情もあり、5月の遠征が実現さ

れるよう国際ハンドボール連盟・ホルル委員長の手までわずらわせると最大限の努力を払っていた。しかし、日本が望んだヨーロッパ各国はオリンピック強化路線を確立している点では有数な国ばかりルーマニアなどは「2年前に、今夏までの強化計画が一刻みで作成されていた」(安藤常務理事)。

ユーゴ戦、ハンガリー戦を応援

ミュンヘンオリンピック・ツアー

オリンピック初出場を果たす日本チームを応援する「ミュンヘンオリンピック見学とヨーロッパの旅」は、田中滋常務理事が中心となって準備、折しよるを進めて来たが、このほど大要が正式にまとまった。

すでにこの見学団については本誌でも紹介され、田中氏のもとに問合せがつついているようだが、別掲のように日本の相手国も決まらず、日本のベストエイト進出の大きなヤマ場となるユーゴ戦、ハンガリー戦が日程に組みこまれたこともあって、一気に定員に達するだろうとみられている。

といわれ、日本チームの遠征が急に割りこむのはかなり難しいというみかたもあった。

「国内でじっくり時間をかけ調整・強化すべき課題も多い」(勝日本コーチ、常務理事)だけに「中止」にくじけず残る期間をより有効に使って欲しいものである。

協会にも連絡されている。

○見学団要項(抜粋) ……
▽期間、8月26日から16日間(出発8月26日羽田発、帰国9月10日羽田着)
▽経費、三八五、〇〇〇円(入場券代金、渡航手続き代などは含まず)
▽募集人員、40名(先着)
▽申し込み先、名古屋千種区豊年町3の37 タヨシ産業・田中滋章氏。(電)〇五二(731)一四四六。

○…主な日程 ……
・8月26日出発、27・28日ロンドン
・29日ミュンヘン(試合見学8月30日、9月1日)、2日チューリッヒ、3日5日パリ6日9日ローマ、10日帰国。

二つの日韓交流が5、6月に相
ついで行われる。

まず、5月1日から11日まで全
日本実業団女子選抜軍
韓国遠征日程

- ▽第1戦 5月3日・対ソウ
ル選抜(ソウル愛忠体育館)
- ▽第2戦 5日・対白花醸造
1回戦(ソウル愛忠体育館)
- ▽第3戦 7日・対漢城女子
大学(釜山体育館)
- ▽第4戦 9日・対白花醸造
2回戦(全州体育館)

日本実業団女子選抜軍が訪韓、ソ
ウル、釜山、全州で4試合する。
同選抜軍は本誌既報のとおり田

安藤、佐野、山田

3氏がパス

国際公認審判員試験試合で
日本協会・荒川理事長は4月14
日の月例常務理事会で、昨秋国際
ハンドボール連盟(IHF)E・
ホルル技術委員長が来日の際、東
京駒沢屋内球技場で行った国際公
認審判員によるモデルゲームの結
果、安藤純光、佐野和夫両氏がパ
スした旨、IHFから連絡(広報
93号)があった、と発表した。
両氏はほか44年7月マドリッド
のIHF国際公認審判員講習会に
出席した山田計氏も、合格者”に
加えられている。(注・山田氏は

中滋章全日本実連理事長を団長に
役員4名と全国7チームから若手
を中心に選抜した選手14(GK3
FP11)の計18名。日本の女子チ
ームが韓国に遠征するのは初めて
である。一行は1日15時50分大阪
発の日航機で出発するが、対戦チ
ームは白花醸造(昨年2月、7月
来日)漢城女大と実業団、学生界

女子が初の遠征(全日本実業団)

二つの日韓交流

学生は男女が同時来日

世界女子選手権に出場中でモデル
ゲームには参加しなかった)
▲解説▽荒川理事長は「ホルル委
員長が「日本の審判員の実力をみ
たい」というのでモデルゲームを
行ったが、まさか広報で結果を発
表するような「公式のテスト」で
あるとは思わなかった」と今回の
公表に驚きの表情をみせた。
しかし、ホルル委員長は、かね
てから日本協会が日本人審判員の
国際舞台登用を強く要望していた
ことに對する「実力判断」の絶好
の機会とみたようで、モデルゲー
ム当日は、日本協会役員はもとよ
り、同行していたリンケンパーガ
ーIHF理事やオルソン、カール
ソン両審判員も遠ざけ、採点を

のトップチームのほか第1戦でソ
ウル選抜と顔を合せる。同チーム
は韓国女子ナショナルともいえる
陣容が予想され注目を集めよう。

帰国は11日14時50分大阪着の予定
一方、学生界の第6回(女子第
2回)交流は6月9日韓国代表が
来日、開幕する。
今年から男女同時来日が申し合
していた、といわれる。

IHFでは、国際公認審判員の
申請を毎年9月に締切り、その中
から世界選手権などの登用者を指
名するが、実績優先のため日本の
審判員にチャンスがまわることが
よほどのことがない限り難しいと
みられていた。
今回、3氏がホルル氏のめがね
にかなったことは大きな道が開か
れたとみてよいだろう。
なお、山田氏はマドリッドの講
習会に参加83審判員(27ヶ国)の
うち、優秀の部に入っていたこと
が認められたものようだ。
同氏は44年の講習会で行われた
モデルゲームの決勝戦を担当して
いる。(X)

はされ、女子は2年つづけて韓国
例が遠征してくることになった。

韓国男女学生来日日程

- ▽第1戦 6月10日 男女と
も対九州学生選抜(福岡県)
- ▽第2戦 12又は13日 男子
対京都産業大、女子対甲子
園学院大(京都)
- ▽第3戦 15日男女とも対東
海学生選抜(名古屋)
- ▽第4戦 17日 男女とも対
関東学生選抜(東京体育館)

来日チームの詳細は不明だが全
日本学連は「男女とも単独チー
ムではないか」といっている。

各学連代表で「予選」

NHK杯の学生代表
全日本学連は4月15日東京で新
年度初の全国代表者会議を開き、
NHK杯(6月23、25日・大阪)
の出場チームは男女とも5月下旬
名古屋で各学連代表チーム(単独
または混成)による「予選」を行
い、その勝者を推すことに決め
た。

この日予定された任期満了にと
もなう役員改選は西敏郎会長が
病氣療養中のため同会長の全快を
まっけて6月頃行うこととした。
また、今年全日本学生選手権
は11月13日から5日間大阪で開く
(本誌既報)。

さわやかなバブルガム

アイスクリーガム BUBBLE GUM

オレンジ アップル ストロベリー パナナ パインアップル グレープ



カバヤ・リーフ株式会社・岡山市下石井1-2-3

8月5日に推せんめ切り

全国中学生大会 実施要項を発表

日本協会は今夏8月18、19日愛知県長久手町(名古屋市郊外)で実施する「第1回全国中学生ハンドボール大会」の計画を進めているが、このほど同大会の実施要項と「全国中学生ハンドボール大会開催基準要項・案」を作成、4月14日の月例常務理事会で承認をうけた。これによつて全国中学生大会は本格的なスタートを切つたわけである。日本協会は運営の万全を期してさらに綿密な準備を行うことにしている。

推せん締切りは8月5日と決められている。

試合はトーナメントで

試合方法は、当初9チーム出場で3チームづつ3組の予選リーグのあと各組上位者により順位戦を行うことになっていたが、チーム増により、トーナメントで運行と変更された。なお、1回戦の敗者でコンソレーションマッチも行われる。

一チームの構成は付添(監督)

1、選手12の計13名、コートは原則としてアウト・ドア。

優勝チームには日本協会杯が授与される。

宿泊費は日本協会負担

経費については全国中体連側の「参加者にてできるだけ負担をかける」という要望にそつて日本協会(中学問題検討委)も検討していたが、一チーム13名の宿泊費(8月17、18日の2泊)を全額負担することに決定した。

「問題点」の一つとなつていた新潟県と長野県の扱いについては日本協会のブロック分けを適用することに全国中体連も了承、したがって両県は北信越ブロックに所属が確定した。各ブロックからの

全国中体連は「理想は交通費も」としていたが、日本協会も財政上そこまでは応じられず、宿泊費までの線に落ち着いた。また、全参

加者に対し「傷害保険」がかけられることになっており、競技はもとよりすべての面で安全に細心の注意が企まれる。

「基準要項」も近く成立

「開催基準要項・案」は来年度以降の大会開催の骨子となるべきもの。大会趣旨、期間、参加数、参加資格など主要点は次のように提案されている。

▽大会趣旨 ハンドボール競技を通して心身ともに健全な青少年の育成と交友を深め、希望のある生活体験を与えるとともに技術の向上をはかる。

▽期間 夏期休暇中、3日間を限度とする。

▽参加数 日本協会の布く9つのブロックを推せん母体とし各ブロックから男女1チームづつを原則とする。

▽参加資格 1、日本国中学生であること。(編集部注・国籍は問わない)

2、各都道府県ハンドボール協会の推せんチームであること。

3、各学校の校長および校医の健康診断により許可された生徒または保護者および医師の健康診断により許可された生徒であること。

▽競技方法 日本協会競技規則を適用し、試合は予選リーグ及び決勝トーナメントとする。

▽費用 1、宿泊費については全額日本協会が負担する。

2、旅費については参加者側の負担とする。

3、参加者に日本協会が傷害保険をかける。

「今後」にも充分な配慮

早くても来年度からではないかとみられた全国中学生大会がいくつかの障害をのりこえて今夏実施となったのは、オリンピックムーブが高まる斯界にとつて二重の喜びといつてよいだろう。


日本協会の非公式な調査では現在全国でハンドボール活動を行っている中学は男子500校、女子300校ぐらいといわれ、今春4月から「中学校指導要領」に復活したとと相まって、一気に「中学ハンドボール」の種まきが行われるものと希望がかけられる。

これにもなつて日本協会の中学校対策はより底深く密度の濃いものにならなくてはいけない。とりわけ競技面での充実と並んで指導者の育成には充分な配慮が必要だ。

全国中体連が競技別の専門部組織を採ることは当然のあいだないものとみられており、日本協会がこれまでの各種別全日本選手権と同じような考えかたで中学界、中学大会をみているとせつつかくの盛りあがりもあとがつかなくなつ

三菱鉛筆株式会社

黒の中の“純黒”男っぽいやつ



MITSU-BISHI BA-31

三菱ボールペン 純黒 BA-31 ¥30

てしまう。
その意味では、昨秋11月に編成されて以来、いくたの困難な問題を切りぬけて大会開催にこぎつけた中学問題検討委員会を「中学対策部(仮称)」に「昇格」させることも考えられてよいのではなから

うか。また、今年度の場合、中学対策を急ぐあまり、下部の意向を十分に吸いあげる余裕に乏しかったことは否めない。特にこれまで夏休みに「中学大会」を開いていた地方では混乱もあると伝えられている。第2回以降の教訓にすべきだ

ろう。
なお、今年度全国大会を予定し青少年運動競技中央連絡協議会(日本体協、全国中体連など9団体で組織)から実施計画が発表された中学競技は16競技17大会。

ブロック選 日本協会特別委員
出中学委員会「中学問題検討委」のブロック選出委員はその後の4氏が発表された。
寺崎一夫(北信越)、滝川侃志(中国) 楠原敏明(四国)、又吉栄久(沖繩)。

第1回全国中学生ハンドボール大会実施要項

▽主催 日本ハンドボール協会、全国中学校体育連盟、愛知県教育委員会

▽後援 愛知県、名古屋市、名古屋市教育委員会、愛知県体育協会、名古屋体育協会

▽主管 愛知県ハンドボール協会、愛知県中・小学校体育連盟

▽目的 ハンドボール競技を通して心身ともに健全な少年の育成と交友を深め希望のある生活体験を与えるとともに技術の向上をはかる。

▽期日 昭和47年8月18日(金)19日(土)

▽場所 愛知県愛知郡長久手愛知県青少年公園

▽参加対象 一、全国のプロック代表(北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国九州)男女各1チーム。

二、開催県代表(愛知)男女各1チーム。
▽参加人員 計200名(1チームの構成12名、付添(監督)1名、計13名)

▽競技規則 昭和47年度日本ハンドボール協会競技規則に準じて行う。

・試合時間、前半20分―休憩10分―後半20分

・延長戦の時、準決勝までは第1延長を行い、なお同点の場合は抽せん。

・優勝戦は正規とする。

・雨天の場合、体育館の都合で試合時間を短縮することがある

▽試合方法 トーナメント法とする(3位決定戦は行わない)

なお、1回戦敗者によって敗者戦を行なう。

▽組み合わせ 日本ハンドボール協会で行なう。

▽表彰 上位4チームに賞状、優勝チームに日本ハンドボール協会杯

▽参加者保護 日本ハンドボール協会において全員(1チーム13名)傷害保険に加入する(日新火災海上保険KKK、保険額20万円)

・各ブロック担当者と参加生徒保護者との連絡を密にする。

▽宿泊 愛知県青少年公園宿泊所(全員2泊)

▽経費・交通費 参加チーム負担とする。

・宿泊費 全額日本ハンドボール協会が負担する(1チーム13名)

▽申しこみ期日 昭和47年8月5日(土)Ⅱ所定の用紙使用。

▽申しこみ先 名古屋市中川区下之一色町西の切9 愛知県小学生ハンドボール教室事務局(電話 052-301-1779)代表西川勤也。

▽その他 一、日程・集合8月17日14時、監督会議 8月17日15時、開会式 8月17日16時、いずれも愛知県青少年公園、

試合日程 8月18日9時―16時 男女1、2回戦及び敗者戦、8月19日9時―12時、男女準決勝及び優勝戦、講習会 8月19日13時―15時、閉会式8月19日15時(閉会式後解散)

二、ユニホーム 各チームは色ちがいで2着用意することが望ましい。

三、背番号は申しこみ書と同一にすること。

四、大会期間中、中学生の現状調査(意識調査、体力測定)を行なうかもしれない。

五、名古屋駅から青少年公園までの交通機関Ⅱイ、名古屋駅名鉄バスセンター発、青少年公園行 8.47、9.30、9.43、10.30、10.43、11.43、12.43 (以下略)

ロ、名古屋駅から地下鉄星ヶ丘駅下車、同駅から名鉄バス青少年公園行。8.23、9.57、10.57、11.18、12.57、13.18 (以下略)

純競技仕様

＝すぐれた機能は美しい＝

デサント製品はすべて本格派の名にはじない「純競技仕様」……その孤高の世界へ肉迫した成果をご着用下さい。

THE BEST
for typical sportsmen

original by
DESCENTE

スポーツ服装専門メーカー
株式会社 デサント

《本格派》

デサント
スポーツ服装

●ハンドボール ●ベースボール
●ゴルフ ●スイミング ●スキー

GW・ダンケルセン来日メンバー

団長	K・H・ブルーンズ (GWDクラブ会長)	
役員	E・ブールマイスター (GWDハンドボール部長)	
ヘッドコーチ	F・スパヌス (35)	
アシスタント	コーチ(兼FP) H・マイソール (32)	184cm
報道役員	S・ノルテ (37)	
マッサージ師	H・ペーフェルセン (31)	

▽GK	○ ヴィンター	186cm	①
	○ グンター	176	②
▽FP	○ ベルント	181	③
	○ クラウス	178	④
	△ ハンス	182	⑤
	○ オット	182	⑥
	○ エリック	189	⑦
	○ プルク	182	⑧
	○ ゲラルト	183	⑨
	○ ヴァイン	177	⑩
	△ マルゲ	186	⑪
	□ ユルゲ	178	⑫
	○ ハイ	183	⑬
	○ ハンス	190	⑭
	○ ベル	200	⑮

○印	は ナショナルプレイヤー
□印	は ナショナルB
△印	は 元ナショナルプレイヤー
右欄の○	内数字は日本での得点数
()	内は年齢

なのだから始末がわるい。それでも寺田、佐藤らの個人技を活かして21分30秒には5-9まで食い下った。

○……ダンケルセンは11人制のプレーの長所を巧く活かして、攻防両面で力感にあふれている。

全員が大きなパス、小さなパスを使い分け絶えず動き回っているし、GKから一気の速攻ではすばらしいロング・パスを通す。

最近来日した外国チームではいちばん速攻がうまいのではなからうか。また、ボールを片手で自由にあやつるため、シュート態勢に入りながら不利とみるやパスに変えるプレーが平気でできる。それがフエイントとしての効果をあげて富士クエとまどわせた。

○……注目のブッシュは前後半とも10分すぎから登場した。2m選手の手プレーは日本では初めて。7MTを含めて3ゴールをあげたが、急角度で投げ下すシュートはさすがに鋭い。

まだまだ荒けずりだがパスワークは多彩だし、フットワークもよい。巨人選手にあり勝ちな無器用さは感じられなかった。将来案しみな若手である。

○……富士クは前半10点差をつけられながら後半よく走りスカイプレーなどを織りこんで善戦した。しかし体格差、スピード差はど

強引なダンケルセン

第2戦、大同製鋼(愛知)との試合は4月4日午後6時30分から名古屋市・愛知県体育館で行われた。

審判 嶋田新太郎、稲石三二(ともに国際公認審判員)、観衆 約三千

GWダンケルセン 22(13-9) 6 大同製鋼

得点者 野藤加中 木松小北

○	メギ	0	0	0	2	1	2	5	7	1	3	0	1
○	ホル	0	2	1	2	5	7	1	3	0	1		
○	スト	0	2	1	2	5	7	1	3	0	1		
○	ドレ	0	2	1	2	5	7	1	3	0	1		
○	ゲ	0	2	1	2	5	7	1	3	0	1		
○	ケ	0	2	1	2	5	7	1	3	0	1		
○	ル	0	2	1	2	5	7	1	3	0	1		
○	セ	0	2	1	2	5	7	1	3	0	1		
○	ン	0	2	1	2	5	7	1	3	0	1		

○……西独の名門クラブチームで


観戦記

「パワーとテクニックを備えたチームだ」とのふれ込みでやってきたGW・ダンケルセン。そして日本のトップクラスにいる大同製鋼。単独チームの試合としては両国を代表する試合展開になると思われたが、大同製鋼はダンケルセンのパワーのハンドボールに完敗した。

○……試合開始直後、ダンケルセンはクラマーが左45度から強烈なシュートを決め、幸先のいいスタートを切った。だが、試合運びは個人技にたよっており、全体の動きそのものには、いまひとつ鋭さがなかった。ここを大同製鋼につかれた。

6分、中井からのロングパスを受けた野田が右からの倒込みシュート。野田のもつとも得意とするシュートだし、ディフェンスからオフフェンスへの切替えて、動きも早かったのできれいに決って追いついた。さらに8分、中井の7M

ろすることもできず後半15分20-9からは一方的な経過となりダンケルセンはレーゼ、ドレックマイヤーのコンビ攻撃やクラマーのバックハンドシュートなど洗練された攻撃で容しやなく加点、富士クは散発的に得点を返したただけだった。



荷役運搬機器の総合メーカー
手押車からコンベヤー・リフトまで

●ご計画のときは本社営業部までご一報ください。

タヨシ産業株式会社

本社・工場 名古屋千種区豊年町3-37 TEL.052(741)4121
東京営業所 東京都世田谷区祖師谷4-14 TEL.03(482)3589

昭和38年チーム結成
全日本実業団大会8回
連続出場

移動バイス台

手の攻撃を遮断し、ヨーロッパチームに見られない速攻を持ち早いパスのハンドリングによるフェイントを利してのフォーメイションはスピードと変化に富み今迄来日した中では一番充実した実力を持っている。

○……全日本は過去大阪市立中央体育館での試合で敗れたことのないと云う良い気分を持っていた。彼等の精力的な攻撃活動と強引な落差の大きいシュートに対しどこまで防御するかが勝敗の大きな鍵であった。富士と名古屋の2試合を見てローリングオフエンスからの切り込みとポストプレーへの交

化、又ロングシュートに対して4・2デフェンスで臨んだ。攻撃は平均身長185の高い一線防御に対して早いパスワークと動きの移動によってシュートに結びつける、そして速攻と奇襲のスカイプレーを使用する作戦で臨み失点13得点18に目標をおいた。

○……試合開始。リラックスの全日本に対しダンケルセンは殺気たっていた。2分フォーメイションプレーから有永が回り込んでうまいシュートを決め幸先よいスタートを切った。その次の攻撃でシュートした有永が相手のラフプレー気味のアタックで鼻柱を痛めつけ

られ退場し以後の展開に不安を残したがこの動機がかえって全日本の士気を盛り上げた。押し気味に試合を進めた全日本は10分3-0とリードした。この間ダンケルセンのローリングオフエンス、ポストプレーに対し防御の申し合わせを徹底し早いつぶしでのぞんだ。ダンケルセンは11分7米スローで初めての得点を挙げた。その後全日本はリードに気をよくし木野、飯田がクイックプレーから15分佐々木が中央速攻で得点を挙げた。ダンケルセンは日本の執拗な早い

つめにあつて思うように攻め切れずベンク、クラマー、ムンクの徹

グンメルスバッハ(46年4月来日)やTHW・キール(47年3月来日)と同ようダンケルセンも西ドイツリーグ(ブンデスリガ)での好成績の「賞与」としてクラブが極東遠征に送りだしてくれたものだ。

ダンケルセン市は人口4千の都市。クラブはハンドボール・バレーボールなど700人の会員をもつこのクラブの特色はいぜんとして11人制に深い愛着を示している点でヨーロッパ、西ドイツ選手権をとりつづけている。一昨年は7人制とあわせてダブル・クラウンを誇る。

GW・ダンケルセンの横顔

6~8オクラスから年令別に12のチームをもち、一貫した「ハンドボール教育」が自慢だ。5~9月が11人制、10~4月が7人制と区別されておりどちらも人気があるという。

KのM・カールハイ(ナシヨナルプレイヤー)が大学の試験で来られなかったほかはベストメンパーで来日。名手ムンクとベンクが揃ってヒジを痛め本調子でなかったが世界学生選手権で主将をつとめたドレックマイヤ

ーや学生ナシヨナルの主力クラマー、将来を嘱望されている

ブルグSVが11人制を残してくれればよかったのだが……とスパヌス監督は惜しむ。今シーズンはオリンピックのため11人制の全国リーグは中止される。「斜陽化に拍車をかけなければいいが」という心配もある。G

グ3位(8勝4敗2分)。



最終戦、7MT2本を止めたGK大村(右)のファインプレーは全日本の勝因の一つであった

底したマークは功を奏した。然しその間隙を縫って大同戦以前に足を痛めたレーゼにジャンプシュート2本、クロツケルに7米と、あと20秒に全日本の僅かのミスから決められ7-6と1点差に迫りつされた。

○……後半はへばらないで脚を使って前半同様の防御をやりさえすれば得点は取れると踏んだ。10分まで2つのスカイプレーと木野の見事なシュートで11-7とリードし有利に導いた。特にスカイプレーによりダンケルセンは防御の乱れを生じ興奮した様子であった。この辺から全日本の余裕、ダンケルセンの焦りは対照的にプレーに

あらわれた。15分以後は一進一退が続き全日本は少しへばりが見えたがリードに守られてプレーができ7米2本と、佐々木、野田がシュートを決めた。追いつこうとあせるダンケルセンは攻撃リズムがもう一つ合ずシュートも決らず4点を入れたに止まり後半は8-5のスコアで結局15-11で終了した。前半の大事な

○……ヨーロッパ勢に勝つため、ミュンヘンに入賞するためには「防御だ」とスローガンを打ち出して練習してきたことがこの試合の結果となって現われた。然しまだまだやらなければならぬ事を痛感した。全日本は早いボール廻しで攻撃のリズムをよくし相手の一線防御をクイックプレーによりゆさぶり今迄の国際試合には見られない積極性と鋭さがあった。彼らは試合の流れからくる判定に対して不服を云っていたがその

気持は分る。又ラフプレーと思われ防衛はあったが国際試合とすればこれ位の事は当然と覚悟せねばならない。そのためにも今後益々防衛体力の増強をつまねばなるまい。

全日本も一ヶ月前のキール戦の経験を生かしたと、そしてこの勝利は大きな自信となり今後の飛躍への踏台としたい。(日本協会オリंपピック対策部長)

スパヌス・ダンケルセンヘッドコーチの話 一昨年の春、世界選手権(フランス)で見た時より日本チームははるかに巧くなっている。

体格のハンデをショートパスとスピードな動きでよくカバーしていると思う。

ナショナルチームならば西ドイツの全国リーグでも2、3位に食いこめるかもしれない。

ユニホー 最終戦は、打倒全日ムを交換 本の闘志にもえたダンケルセンの荒いプレーに、日本側もやり合うなど日独交流ではかつてないエキサイトした場面が

つづいたが、試合が終ればそこはスポーツマン、握手をかわしただと、全選手がその場でユニホームを交換する和やかな光景をみせた。

野田、大江、佐々木らは大柄なダンケルセン選手のユニホームがダブダブ。ファンの笑いを誘った。

「ボクはオリंपピック候補からはずれたヨ。辞退したのだ。シュミット(グンメルスバッハ)も同調している。」

いきなりシュッキングな話を聞かされた。「なぜ？」と聞くまもなく「過去の名声などがナショナルチーム編成の重要資料

になっているようではいけないと思っただからだ」と熱っぽい口調でつづける。ヨーロッパでも

屈指のテクニシャン・ムンクと194cmの巨砲シュミット(昨春来日)が脱けて西ドイツチームは大丈夫なのか。

なにかありそうだ。カール・ブルーンス団長に「事情」を聞いてみた。

……ムンクやシュミットは西ドイツにとつていぜん貴重な戦力だ。だが彼らは今の西ドイツ協会のナショナルチームの選抜に

不満があつて辞めた。当分この問題はくすぶるだろう……。

軽卒に判断はできないが西ドイツ球界の内紛と受けとれる。

アマチュア問題でしめ出されていたかつての僚友ルプキングが最近復帰したこともムンクにとつて愉快な話ではないらしい。

「彼は優秀なプレイヤーだがもう西ドイツナショナルには必要のない老兵」だ。西ドイツ協会も新聞記者も過去の実績に

とらわれすぎる」そしてポツリと「だが彼(ルプキング)はナショナルでまたやるだろう」。

ルプキングのほか新鋭だけで西ドイツはミュンヘンのメダルを手に行けると思う

か——

「強いといわれている国の力は紙一重だ。昨日のチャンピオンも今日は8位といった具合だし、西ドイツにも

チャンスは充分ある」公式国際試合出場93

回、300点近いゴールをその左腕からたたきだしているベテラン。7

人制で2回、11人制で1回、世界選手権に出ている。

13才でハンドボールをはじめ現在はハノーバーの大学でスポーツと地理の助手をつとめている。

11人制と7人制どちらが好きか?

「夏は11人制、冬は7人制(笑)」

今までのいちばん印象に残っている試合は——

「一九六八年チェコ協会創立記念試合のため編成された世界オールスターズの一員に選ばれ

たこと」

日本の印象は? 「気に入った」

趣味は? 「音楽。ポップスからオペレッタまでなんでも(笑)」

結婚しているが、子供はまだだという。

3週間前、ノルウェーとの国際試合で利き腕の左ヒジを痛め治療をまちがえ悪化させてしまった。医者にプレーをさしとめられ遠征中もベーフエルセン・マツサージ師がつきっきり。

最終戦(対全日本、大阪)で勇姿を初めて見せたが「投げる直前までシュートかパスか判らないフエイントプレーはさすが」と木野選手は舌をまいた。

西ドイツナショナルの主将をつとめる彼にチームメイトは「一目も二目もおいていた。ベンチでも中央の座はムンクのために自然にあけられる。横綱の貫録だ。だが、話をしてみると陽気なナイス・ガイ。

「とてもプレーできるコンディションではないのだが、日本のファンが待っていたそうなので出た。まさか皆さんにダンケルセンまで来てもらうわけにはいかないからね」(大阪で試合後の談話)——彼のようなおとなな「を欠いて西ドイツは本当にやっていけるのだろうか。(S)

B · M N K 選手 訪 問

「一九六八年チェコ協会創立記念試合のため編成された世界オールスターズの一員に選ばれ

たこと」



★強力ナイロン糸巻構造
MIKASA® HAND BALL
完全球形に対する強靱さ、バウンドの正確さ、そしてダイナミックな弾性と抜群の耐久性、このミカサの「完璧なボール」が生産量、輸出量ともに日本一、また世界屈指のビッグメーカーにしました。

日本ハンドボール協会検定球
ミカサ 明星ゴム工業株式会社
広島・東京・大阪・福岡・名古屋・札幌

日独最終戦

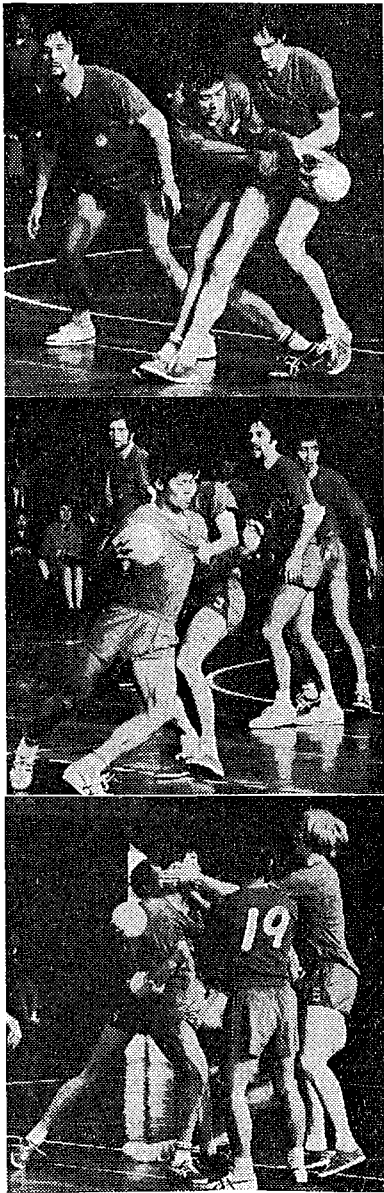
ラフ・プレーは誰の責任か

光島磯雄

(写真も)

レンズは見た。このラフプレー

ダンカーゼンはしばしばラフなプレーを見せ、全日本は腕をつかまえられ、ユキニホームを引かれ、あげくのはてはおさえてつけられて顔をばられた。こうまで荒れた“原因”を考えたい……。



誰の責任か？ レンズはみている！！ 左の三枚の写真をとくと御覧ねがいたい。これは4月8日大阪で行われた全日本ナショナルチーム対GWダンカーゼンの試合でのスナップである。ユニフォームをつかむ、両腕で抱きつき片方の腕は首にまきついているほどの粗暴なホールディング場面。この試合をみてはからずも丁度一年前の四月七日に同じ場所で行われたグンメルスバツハ戦の様相を思い出した。あの時は、グンメルス

バツハチームは到着翌日のゲームであったためコンディション不良であったことは否めないが、皮肉なことには今回のGWダンカーゼンと共通点は、レフリーへの大きな不満のあったことである。トレナーのシュパヌース氏、ダンカーゼンハンドボール部長エーリッヒ・ブルメスター氏や今回随行して来たドイツハンドボール誌の寄稿者であるジークフリート・ノルテ氏ら口を極めてレフリーの不公平さをボヤいていたのである。私

個人としては全日本チームがドイツの代表的強チームとして名高いダンカーゼンに勝利をおさめたことについて、愛好者の一人として素直に拍手を送るが、純粋なハンドボールの見方から観察するとき、いろいろの疑問点が夕立雲のごとく沸きおこってくるのを止めることが出来ないのである。

結果論であるとして諸賢のお叱りをうけることは覚悟の上で再びにくまれ口を書かせていただく。現状ではまことにやむをえない要素も多いであろうけれども、端的に言って国際公認審判員諸氏はあまりにも日本のな笛の吹き方をしているように思われるのだ。対キール戦を含めて、残念ながらあの六試合での審判員諸氏の吹笛ぶりは、国際試合を管掌するにふさわしい努力精進の成果が認められなかったと断じては言い過ぎ

であらうか。日本協会審判部はこの三月四日の対ドイツ戦に先立ち実際に国際試合として円滑なる審判技術に関しての研修をしたのであろうか。東洋の離れ小島という地理的条件から、見解判断の相違はやむをえないとしても、彼らをして日本の審判は公平さを欠くと思わせた原因はどこにあるか？。我々はこの試合がそれほど不公平なものだったとは思っていないのであるが、この競技の普及の度合の比較という見方からすれば親善試合といえども両者の感覚の差は大きなものとなることは明らかであらう。ノルテ氏の言うには、あの試合がヨーロッパで行われていたら、審判員に対して観客席からの抗議が大きかっただろうとのこと。日本ハンドボールにおいてはまた観客が集団的な態度にあらわして大いに抗議を示すという場面

がみられないのは幸なのか不幸なのか？。不徹底な審判であれば、必ず選手はそれにマッチしたプレーで勝を得ようとするものである以上、前に掲げた写真のような粗暴プレーは早期にその芽を摘むようにしなければならぬ。

各位最善の努力研究をのぞんでやまない。

海外遠征をした人達は異口同音に、日本の審判技術は悪いものではない、外国にはもっとひどいものもあるなどと感想をもらしてくれたりしたが、ここでのぼせてはいけぬ、重大な、根本的な要素が欠けているのだ。これを克服せぬかぎり、近い将来審判部は国際部門において、東洋でもっともおくれた存在と化すであらう。(投稿) (注) チーム名と個人名の標記は原文のまま。

第1回〜第10回 日独親善試合総記録 (本誌調べ)

▽第1回 ヒットラー・ユーゲン
ト来日 (昭和13年9月16日・明治
神宮競技場)

日 体 19 (118 | 33) 6
ゲント ヒット
ント ユー

【日】永 島田南文
【徳】菅 李 崔 馬
【中】和 南

【H】レヴフシ H トシハベオデ
【ユ】ン オビシロ ユ ユ
【ゲ】ン タル マツ ヲ
【カ】ケ ル ク エー イ ト
【ト】ー ル ク エー イ ト

▽第2回 皇紀二千六百年奉祝東
亜競技会ハンドボール (昭和15年
6月、第1戦・9日神宮競技場、
第2戦・16日榎原第二競技場)

日 体 8 (4 | 05) 5
ツ人選抜
ツ人選抜

▽第3回 訪日ドイツ艦隊ハンド
ボールチーム来日 (昭和17年11月
29日・明治神宮競技場)

全日本学 8 (3 | 4) 7
生選抜 ツ艦隊

▽第4回 枢軸国交歓球技大会
(昭和18年12月5日・明治神宮競
技場)

全日本 11 (3 | 4) 11
ツ人選抜

【本】出出出出出出出出出出
【日】早慶日早日早日早日
【法】早慶日早日早日早日
【全】林 井橋田 油高島

【GK】FB HB FW
【選抜】ル エク トン
【人】ネ ジン ツ ミル イ
【日】ツ シ ュ テ ス タ ベ タ
【在】モハフソ O マベヘ W オ

▽第5回 西ドイツナショナル来
日 (昭和31年9月16日〜30日、全
国各地8試合)

西ドイツ 19 (118 | 53) 8
生選抜

西ドイツ 24 (1113 | 67) 13
全東海

西ドイツ 21 (1110 | 54) 9
富山ク

▽交代【日】GK小野 (日体大出)

FW高山 (日体大出)

西ドイツ 22 (1210 | 33) 6
全九州

西ドイツ 18 (108 | 73) 10
関東学生

【全】星遠桜 齊山平 幸新浅皆佐
【星】遠 桜 齊 山 平 幸 新 浅 皆 佐

西ドイツ 28 (1414 | 57) 12
全日本

【西】ドイ ツ
【ソ】ヴェル
【ド】ネル
【ネ】ル
【ハ】ル
【ル】マ
【ン】ラ
【フ】ン
【マ】ン
【ン】ヒ
【ル】パ
【ン】ガ
【ル】

▽交代【日】GK小野 (日体大出)

▽第6回 独艦ドイツツェラ
号来日 (昭和40年3月・日・駒沢
屋内球技場)

全東京 38 (2315 | 43) 7
独艦ドイ
ツツチエ
ラ

▽第7回 (女子第1回) 西ドイツ
選抜男女来日 (昭和42年9月9日
〜27日、全国各地男子13試合、女
子11試合)

全立教大 24 (1113 | 65) 11
西ドイツ
選抜

西ドイツ 23 (149 | 912) 21
東日本選
抜

西ドイツ 33 (1617 | 124) 16
全仙台

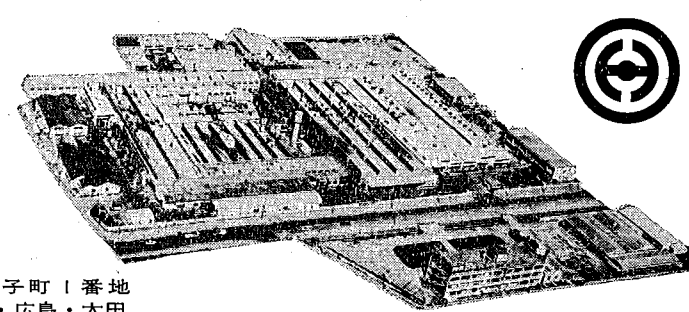
西ドイツ 18 (108 | 87) 15
大崎電氣
(埼玉)

全日本 23 (1310 | 85) 13
西ドイツ
選抜



NHK SPRING

日本発条



本社／横浜市磯子区新磯子町1番地
支店／東京・大阪・名古屋・広島・太田

軽快な動きで攻めよ!

栄光をめざす《あなた》をバックアップする

タイガー®-HAND

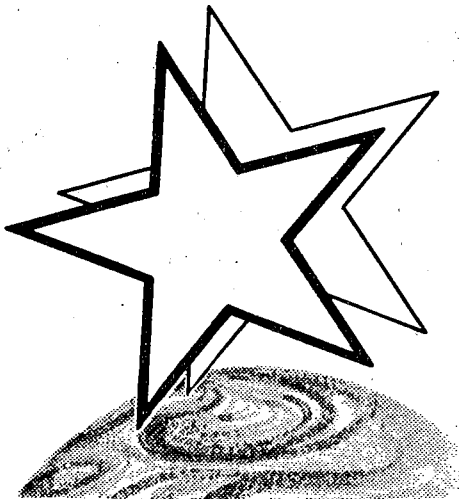


Onitsuka
Tiger

ハンドボール・革 ¥5,400
ハンドボール・布SP ¥1,500
ハンドボール・布A ¥1,400

競技専用シューズの総合メーカー **オニツカ株式会社** 神戸・大阪・名古屋・東京・札幌

明日を創る



特殊鋼づくりをはじめ、工業炉から
省力・公害防止装置まで、鉄鋼・非鉄
各種生産ラインのシステムをつくる
企業、それが大同製鋼です。



大同製鋼

取締役社長 石井健一郎

本社 社・名古屋市中区錦一丁目11-18(興銀ビル)
支社・支店 東京・大阪・福岡・札幌・広島
営業所

たくましくなった守り

あと118日
全日本

全日本代表のミュンヘンオリンピックへの小手調
べ、T.H.W・キール、G.W・ダンケルセンとの2試
合はまずまずの結果で終わった。昨春のグンメルスバ
ッハ戦を口火にした国内における外国チームとの対
戦はこれで一区切り。本番まであと118日とせまった
全日本の周辺にスポットをあててみた。(編集部)

▽……キールに20-11、ダンケル
センに15-11。
両チームともヨーロッパ屈指の
名門とはいえ、オリンピックでの
上位入賞を果たそうとする全日本
が敗れるようになってはまずい、
という周囲の「心配」を吹きとば
すような快勝だった。

特に2試合とも「失点は12点以
内」(村田ヘッドコーチ)という
目標をみごとに実らせたのだから
ふだんはいたって控え目な村田氏
がダンケルセン戦後「守りは百点
満点をつけてもいい」と手ばなし
なのもムリはない。

▽……たしかに全日本のディフェ
ンスはたくましくなった。
185cmをこす長身プレイヤー(F
P)がキールには3人、ダンケル
センには4人いたがほとんどその
ハンドを感じさせない。以前なら
ば「まるで二階からシュートがと
んでくるようだ」とか「相手はソ
フトボールを使っているみたい」
などとお手あげの状態だったが、
選手たちは「長身封じ」にすっか

り自信をつけて立ちむかっ
てい
る。
▽……その裏付けの一つになって
いるのは体力。一次(2月)、二次
(3月)、三次(4月)合宿の大半
をスタミナづくりにかけた成果だ
過去4回の世界選手権出場で日
本は外国に比べて戦術面、技術面
では少しも劣ってはいない、課題
は体力と精神力だという結論に達
していた。
地味なウェイトトレーニングに
耐えることは体力、精神力の両面
強化に役立つ。
昨秋のアジア予選以来久々に登
場した全日本は存分に貯えた体力
を爆発させ攻め守ったのである。
▽……「よい守備からよい攻撃が
生まれる」とは村田ヘッドコーチ
の持論。
昨春のグンメルスバッハ戦以来
全日本の外国チームとの対戦成績
は11戦8勝3敗(3敗はいずれも
スウェーデン)だが、勝った試合
の失点はすべて11点以下だ。
11点以内におさえて敗れたのは

スウェーデンとの第4戦における
6-11だけである。
▽……問題がないわけではない。
長身者に対する防禦は着々と成果
をあげつつあるが、「中肉型選
手」の突進にまだまだ対抗できぬ
点は考えさせられる。
リンゲルバツハ(グンメルスバ
ッハ、181cm、85K)、スヨデルベ
ルグ(スウェーデン、179、80)、ベ
ルツ(キール、178、76)、ハルプス
(同、181、80)、ベントク(ダンケル
セン、182、80)、クロツケル(同、
182、82)といったタイプのプレー
を防ぎ切れないのは本番での不安
につながる。
▽……彼らの共通点はエネルギー
シユなことだ。ゲームメーカーで
あり、チャンスメーカーであり、
しかも相当な攻撃(得点)力を備
えている。もちろん守りでも市広
い活躍を示す。185センチ以上の選
手の中へ食いこんでいくには、ヨ
ーロッパではよほど、強力な武
器がなくてはならないし、逆に
そうした選手が存在はそのチーム
の柱であることが多い。「中型対
策」を考えるべきだと思う。
▽……攻撃力はどうか。日本のス
ピード攻法は、アジア予選を見た
国際ハンドボール連盟・ホルル技
術委員長が帰国後各所で高い評価
を示したことからいっそう有名に
なった。その特色は今回もいかに
なく発揮され、小気味よいシュエ

トを決めていたが、何よりも選手
全員に平均した得点力がついたこ
とは心強い。層が厚くなり誰が出
ても組織力が崩れない。
▽……あと一息なのはいつもなが
らロングシュートのひ弱さである
「10m以上の地点から射てる力に
乏しい」——外国チームの日本評
はハンで擦したようである。
体格が第一条件であり技術面だ
けで解決できない点に悩みはある
が、シュミット(グンメルスバツ
ハ、196cm)、ホルター(同、194)、
アンデルソン(スウェーデン、192)
オルソン(同、194)、レフラー(イ
スラエル、186)、ニールセン(キ
ール、194)、クラマー(ダンケルセ
ン、190)、プッシュ(同、200)らのプレ
ーを見ていると、2、3点差のハ
ンデイなら彼らの「一発」で簡単
に取り返せる感じを抱く。相手に
対する威圧感も大きい。
▽……この1年間、全日本が相手
にしたGKがストリョーム(スウ
エーデン)、セラ(イスラエル)、
ホイグト(キール)、メイヤー(ダ
ンケルセン)と一流でもあったが
豪快なシュートによる得点は数え
るほどしかない。本田、下里、大
村ら、国際級と折り紙つきのG
Kが身近かにいるのだ。彼らを相
手に長距離砲の特別訓練をこれま
で以上に望んでおこう。
この成否は、「上位入賞」の一つ
のカギである。

日本ハンドボール協会公認球

一番広く使はれて居る!
セ下9一



サービス部
新宿区新宿2丁目電停前
TEL (341)2979・1016

望月運動用品KK

東京都墨田区横川橋4丁目6
TEL 本所 (622) 0746

競技規則の一部改正について

日本協会審判部長

安藤純光

今回の競技規則の改正は一口に言って、内容的にはあまり大きな変化はない。従来の「原注」、複審制に関する規範などがあったものが競技規則に昇格させている。したがって条文は増加している。

以下今回の改正、改訂の主な部分について述べる。

なお、この機会をお借りして競技規則の解釈と運用を今後いかにすべきか、私見をまじえて提起しておきたいと思う。

競技規則改正の主な点

〔1〕 競技場について

1の1、世界選手権大会ならびにオリンピック大会のときの競技場の大きさが示されている。

1の3、ゴールエリアにゴールの前方4Mのところは長さ15cmのゴールラインに平行なライン（マーク）をひく。

このラインは7Mラインから3Mの距離になる。7MスローのときにはGKを含めて防禦側は7Mラインから3Mはなれていなければならないが、GKが前に出て防禦することによって7Mスローを防ごうとするプレーが多くなっている。7Mスローをするプレーヤーの手からボールがはなれるまで7Mラインから3Mはなれて

いたかどうかを判定するためのマークである（競技規則1の1図参照）。

〔2〕 プレイヤーの背番号について

3の8、「……各種大会においてはNo.12以上の番号をつけてもよい。この場合No.16を第3のゴールキーパーの番号とする。……」

No.1とNo.12はGKであるが、さらに第3のGKの背番号はNo.16とすることになった。しかし国内の大会のときには従来の通りNo.13以後にする（3の8（注）参照）

〔3〕 競技時間

4の7、ハーフタイムまたは競技終了直前にフリースロー、あるいは7Mスローが行なわれるときにはタイムキーパーがハーフタイムあるいは競技終了の笛を吹く前

に、その一投がどんな結果になるか投げさせてみなければならない最後の一投については従来と同様であるが、タイムキーパーの笛がその最後の一投のあとに吹かれることになる。このことは4の7の（原注）に詳細に述べられている。

a ゴールにボールが入ったとき（ゴールもしくはゴールキーパーにふれたときにはボールのゆくえを見て笛を吹く）

b ボールがゴールラインを離れたとき。

c ボールがゴールエリアに落ちたとき、ゴールキーパーがキャッチしたとき。

d ボールがはねかえったとき。

最後の一投が右のような状態になったときにタイムキーパーは終了の笛を吹くことになった。したがってそれが最後の一投であるかどうかをレフェリーもプレイヤーもしるることができないことになる。レフェリーは、競技時間の経過について充分注意を払わなければならない。競技時間が残り少なくなつたことを知らせる意味でタイムキーパーは終了30秒前に記録席の前に出て立つことになった。レフェリーは、これを見て残り時間の少なくなつたことを知り最後の一投となった場合にはタイムキーパーはさらにジェスチャーをな

もってノータイムを知らせる必要がある。タイムキーパーとレフェリーの密接な連絡が必要である。

〔4〕 ボールのあつかい方
5の3、ボールをもって動く場合の歩数について、a、b、c、d、にわけて明示された。内容については変更はない。

5の11、ボールを故意にサイドラインまたはゴールラインから出すことはできない。

従来の通りであるが、しばしば問題として提起されていたゴールキーパーが競技場外（ゴールラインの方向）へ出すプレーについては「ボールをゴールエリアからゴールラインの外に出すときのゴールエリア内のゴールキーパーを除く」と明らかにした。つまりゴールエリアにいるゴールキーパーがボールをゴールラインの方向にはじき出すことはボールを故意に競技場外に出したことはないの

のである。

〔5〕 ゴールキーパーについて
8の12、……このときフィールドプレイヤーはゴールエリアに入る前にユニフォームをかえなければならない。

GKの事故によってフィールドプレイヤーがGKになる場合には、ゴールエリアへ入る前に他のフィールドプレイヤーと区別できるGKのユニフォームを着なければならぬ。

〔6〕 ゴールスローについて

12の2（原注）「ゴールスローはキーパーの手からはなれたボールがゴールエリアラインを越えたときに終わったとみなす……」

他のスローの場合にはボールを投げるプレイヤーの手からボールがはなれたときにスローは終了したとみなすが、ゴールスローの場合には投げられたボールがゴールエリアラインを越えたときに終了とみなす。したがってその前にフリースローライン内に入ることは反則である。

〔7〕 フリースローについて

13の1、（P）競技選延が追加されたが、内容的には変りはない。

13の3（原注）「フリースローを行なう前に攻撃側のプレイヤーがフリースローラインとゴールエリアラインの間において競技に影響するようなときには、その配置を正さなければならない。このときには笛を吹いてフリースローを行なう。」

13の3A申し合せVこの項は味方競技場内における味方側（攻撃側）のフリースローのときにも適用する。したがって味方競技場からのフリースローのときの相手側のフリースローラインの中にはいけない。ただし競技に影響のないときには反則にしない。
文法的には変化はないが、たとえば右サイドでフリースローが行

なわれるとき左のサイドで攻撃側
プレイヤーがフリースローライン
をふんでいたり、あるいはフリー
スローラインから出ようとしてい
る(まだフリースローライン内に
いる)ときにフリースローが行な
われたような場合、従来はライ
ンクロスの反則がとられていたが、
今回の改正では影響のない場合に
は反則としないことになった。だ
からといってフリースローライン
の中に入ってもよいということ
はない(13の5および13の5〔原
注〕参照)

13の7……反則があっても攻撃
側のプレイヤーが充分にからだ
とボールを操作できる状態ならばフ
リースローの判定をしてはならな
い。

とくにこれらの場合には競技の
進行を正確に予測する洞察力が必
要である。

〔8〕7 Mスローについて

14の8……反則があっても攻撃
側のプレイヤーが充分にからだ
とボールを操作できる状態ならば7
Mスローの判定してはならない。

フリースローの場合と同様に競
技の進行とプレイを正確に観察し
て判断しなければならぬ。

〔9〕レフェリーについて

17の6……競技中レフェリーは
サイドを交替すべきである。

17の6(注)レフェリーは競技
中約5分をめやすにサイドを交替

する。交替は得点のあったときあ
るいは7 Mスローのときに行なう
レフェリーがより公平を期する
ために大体5分を目やすにして位
置を交替する。この交替は得点の
あったときあるいは7 Mスローの
ときに行なう。このために得点や
7 Mスローがない場合には交替の
時期が延長されることになる。交
替するためにプレイから目をはず
し、支障を与えるようなこと
は避けなければならない。

17の7(注)7 Mスロー、コー
ナスローの笛はセンターレフェ
リーが吹く。

7 Mスローの場合にはセンター
レフェリーとゴールレフェリーは
ゴールと7 Mスローをするプレイ
ヤーをはさんで対角線に位置して
センターレフェリーが笛を吹く
(競技に関する留意事項4「7 M
スローについて」参照)。ゴール
インしたときにはゴールレフェ
リーが2笛吹いて得点を宣する。
コーナスローは従来ゴールレ
フェリーが笛を吹いていたがセン
ターレフェリーが笛を吹くこと
になった。

17の11 2名のレフェリーが得
点、警告、退場、追放、失格を記
録する。

レフェリーは、メモをもってそ
れぞれを記録することになった

競技規則の解釈と運用

先に述べたように競技規則は内
容的には大きな改正はないのであ
るが、昨年行なわれた一連の国際
試合、とくにミュンヘンオリンピック
大会、アジア予選の際のカー
ルソン、オールソンの2人の国際審
判員による明解なレフェリーぶり
を目のあたりに見て、競技規則の
運用の仕方に残念ながら大きな差
を認めざるを得なかった。これは
競技規則の改正によるものではな
く、競技規則の解釈と運用の問題
である。つまり笛の吹き方の問題
である。大きくわけて次の3点を
あげることができる。

1、アドバンテージの問題

日本におけるアドバンテージの
解釈は、あまりにも拡大解釈され
ていたといえる。これにはいろい
ろな要素が影響していると考えら
れる。その一つは、ゲームを細切
れにするな! とか、ゲームを止
めるな! とか、ゲームを流れる
ように運営せよ! などである。

このために当然吹かれるべき笛が
吹かれずいたということであ
る。つまり反則が反則としてとら
れていなかったことである。たと
えばホールディングやブッシング
があってもボールが次へ展開して
行けば、その反則をとらないこと
が攻撃側に有利であるという考え
方から見逃がされていたのが現実
であった。このことがゲーム全体
をラフなものにしていたのであ

る。とりもなおさずアドバンテー
ジの拡大解釈である。先に述べた
13の7および14の8の場合には防
禦側の反則があっても攻撃側のプ
レイヤーがボールとからだを操作
できる状態であればフリースロ
ー、7 Mスローを判定してはなら
ないのであって、このときにはア
ドバンテージがあることになる。

反則に対しては(とくに身体接触
の場合)笛を吹くという原点到立
ち帰って考えるべき問題がある。

2、警告、退場、フリースロー、 7 Mスローに対する判定の基準

判定の基準をしっかりとつと
とが、笛を明解にする大きな要素
になる。警告を与えてないからと
いうことで「退場」になるべきも
のが警告になったりしている場合
を見受けることがある。これらは
それぞれ独立したものであって、
警告を与えていなくとも退場にな
るべきプレイに対しては退場を命
じなくてはならないのである。

3、チャージングについて

この点については、さして問題はない
ように思われるが、しかし防禦に
対して、いわゆる無理に突込むよ
うなプレイに対してはチャージン
グの判定より防禦の反則がとられ
ていることが多い。2人の間隔の
せまい防禦に対して、その間に突
込むようなプレイに対してもチャ
ージングが判定されなければなら
ない。(丁)

省力化に貢献する

工業ファスナーのコンサルタント



株式会社

大山商会

大阪市浪速区元町2丁目108番地 電話(大阪)06-632-2241(代表)

ミュンヘンオリンピック ヨーロッパ予選会を見て

竹野奉昭

(日本協会オリンピック対策部員)

当時も「大番狂せ」と騒がれており今回の快勝はむしろ当然といえた。

世界選手権の得点王マキシモフ(M.A.I.モスクワ)がいぜん劣えぬ攻撃力を誇り、31才のベテラン、クリモフ(M.A.I.モスクワ)も健在だった。

ソビエトに次いだのはポーランド。今シーズンは西ドイツ、スウェーデンを破るなど上り調子といわれ注目したがサワダ(スタル・ミエルク)、ディボル(グルンワルド・ポズナン)、プニオンズスキー(スポニア・グダンスク)と比較的小柄な選手の活躍が目立った。GKスジムック(アニラナ・ロズ)も巧い。

スペイン、スイスはこの両国に比べるとスケールが一まわり小さかったがソビエト戦はともかく、ポーランド戦では勝利を狙い、力の入った好ゲームを演じ、ヨーロッパ全般のレベルアップを印象づけた。

特にポーランド×スペイン戦(20日)は、ポーランドが前半、新鋭アンサク(スラスド・ウラクロウ)の好シュートで11-8とリードしたが、地元の声援をうけたスペインは後半開始と同時にラバカ(グラノラス)、ケスタ(アトレティコ・マドリッド)の連続得点で1点差に迫りこみ白熱。しかし、先手をとりつづけたポ

15-14	ノルウェー
21-19	ポーランド
18-15	ブルガリア
22-11	オーストリア
16-11	ルクセンブルク
25-15	ポルトガル
28-10	イタリア
31-1	イギリス

1 ランドは終盤15-14から一気に加点、21-16でつきはなした。
結局ソビエト、ポーランドにサシセバスチアン市で行われた第1組のノルウェー、アイスランドの計4ヶ国がこの段階でミュンヘン行きを決めたのである。

ソビエトら5ヶ国勝つ

3月22日からは順位決定戦8試合(別表)が行われた。

当初は第5代表(5位)決定戦だけが行われるように聞いていたが来てみると1位から16位までを決めるとのことでの力の接近した8カードはそれぞれ興味深いものであった。

試合への興味の一方、日本から持ちこんだカメラ、ビデオカメラが両肩にずっしりと重く、しかも一人旅の不安に「はたして撮れるか」という心細さ加るのだから

ら正直のところ「このような、つらい観戦」ははじめてでもあった。


熱狂のスペイン×ブルガリア

順位決定戦でいちばんの圧巻はオリンピックへの切符をかけたスペイン×ブルガリア戦(24日)の会場での埋まり、ただでさえ情熱的な国民、騒々しいばかりの熱狂ぶりだった。

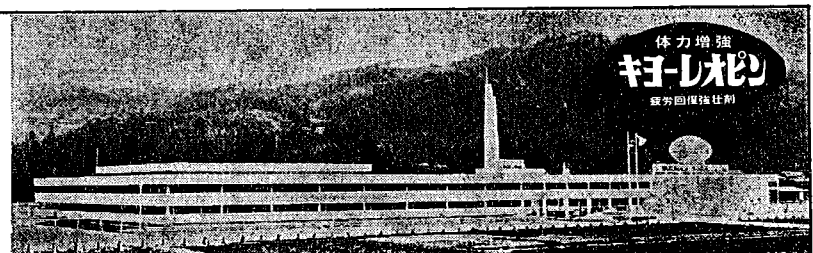
スペインとしては16ヶ国を一堂に集めての大会を引き上げたうえは、どうしても勝ったかっただけだろうし、オリンピックに出るかは今後の同国における「バロマーノ」(ハンドボール)の位置にも響く。文字どおり総てがこの一戦にかけられていたのだ。

スペインは立ちあがりからとばし5-1と先制、その優位を持ちこみ、11-5で後半を迎えた。後半に入るとブルガリアはクリストフ(セルノモレツ、178cm)、ヨルダノフ(スポルテイスト、183cm)リポスクリエフ(同、179cm)らがびわじわと得点を返し、守ってもラザロフ(ESKA・セプスネーム138cm)に代ったGKゲオルヂエフ(ソフィア・ロコモティブ、181cm)の美技でスペインの加点を阻み、20分には14-14のタイスコアとなった。追う者の強み、ブルガリア有利かと思った瞬間、「スペインがミュンヘンに出場できるか

近代化を誇る
湧永薬品広島工場



湧永薬品
株式会社



体力増強
キョーリンピ
疲労回復剤

本社/大阪市福島区上福島南3-142 TEL. 06-458-8901-5
東京支店/東京都港区三田2-7-16 TEL. 03-451-6996-7891

支店/横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌
工場/広島・和歌山

どうかはこの一勝にかかっています。皆さん、今まで以上の応援をお願いします」という放送が場内に流れた。日本では考えられぬ「応援放送」だ。さあ、たまたない。この呼びかけをキッカケに観衆は足を踏みならし笛を吹き太鼓を叩いての大声援、総立ちとなつての大合唱という興奮状態となつた。選手もこれで勇気づけられたのか、ディフェンスの動きがよくなり、すばやい出足からのインターセプト、速攻などでチャンスをつかみエース・モレラ(バルセロナ)・タウレ(同)が好シュートを放ち得点、16-14、16-15、17-15、18-15でついにブルガリア

を押した。終了と同時に役員、選手が観衆にかわるがわる胸あげされ、協会・選手としてファンが一丸となつてかちとつた勝利を喜ぶ歓声がいつまでもつづいた。余談になるが、これで今回の各地予選は日本(アジア)、アメリカ(アメリカ)、チュニジア(アフリカ)、スペインといずれも開催国が勝つたことになる。

悔れぬノルウェー

決勝のソビエトXノルウェー(25日)戦は、本番ではともにもダルを狙う有力チームという前評判だった。日本にとってこれまでソビエトは苦手のタイプ(日本は40-10、30-13、27-12で3戦3敗)、ノルウェーはやりやすい相手(日本は18-14、21-16で2連勝)であった。

ソビエトはマキシモフ、クリモフのほかセブチェンコ(MAI・モスクワ)GKセメノフ(同)ウサティ(チェスカ)といったベテランが攻守の軸になっておりマキ

シモフ(26才)を除いてはいずれも30代。イリイン(MAI・モスクワ)、クリエフ(同)、チャシイ(モスクワ大学)、GKIチェンコ(ザポ・ロジエ)といったイキのいい長身の若手も出ているが、金メダルを狙う主力はマキシモフらである。

ノルウェーは2年前の世界選手権で随所に若さをのぞかせた中心選手の個人技術がすっかり安定、悔りがたいチーム力となっている

興奮の場内と対照的に次の試合の出(で)を待つポーランド、アイスランドの各選手が極めて冷静にコートサイドに立つ姿が、なにか欧州的で胸にこみあげてくるものがあった。

チュニジアがアフリカ代表に

ミュンヘンオリンピック地域(大陸別)予選の俤尾を飾るアフリカ予選会は3月25日から30日までチュニジアのエル・メンザポーツパレスに6ヶ国が参加、リーグ戦で一つの代表権を争った。連日めまぐるしく順位の変わる激戦となり、有力と目されたチュニジアが第2日アルジェリアに敗れる波乱もおきた。

第3日以降はチュニジア、エジプト、セネガルのつばぜり合いとなり、六千のファンを集めた最終日セネガルがエジプトに敗れま

後退、チュニジアXモロッコ戦でチュニジアが勝てばチュニジア、敗ればエジプトというケースになった。チュニジアはすばらしい斗志でモロッコを圧倒、アフリカ代表権を握った。このシリーズの得点王は26ゴールをあげたタグニ(カメルーン)。チュニジアではエース・ジェリリの攻撃力が目立った。

アルジェリアの健斗光る

チュニジ 25 (1411-1011) 21 セネガル

アルジエ 20 (713-712) 19 モロッコ

エジプト 27 (1314-77) 14 カメルーン

アルジェ 17 (98-88) 16 チュニジア

リビア 17 (8-8) 16 アー

セネガル 21 (129-109) 19 カメルーン

エジプト 22 (814-77) 13 モロッコ

チュニジ 18 (810-4) 13 エジプト

ア 21 (912-176) 17 アルジェ

セネガル 21 (912-176) 17 リビア

カメルーン 24 (1410-143) 17 モロッコ

エジプト 19 (712-910) 19 アルジェ

チュニジ 17 (89-8) 15 カメルーン

ア 16 (97-8) 15 モロッコ

セネガル 16 (97-8) 15 モロッコ

カメルーン 19 (712-710) 17 アルジェ

エジプト 24 (1311-98) 17 セネガル

チュニジ 21 (147-63) 9 モロッコ

ア 21 (147-63) 9 モロッコ

【順位】①チュニジア勝ち点8(4勝1敗)②エジプト7(3勝1分1敗)③セネガル6(3勝2敗)

④アルジェリア5(2勝1分2敗)

⑤カメルーン4(2勝3敗)⑥モロッコ0(5敗)

これでミュンヘンオリンピックに出場する全代表(16ヶ国)が出揃い4月22日予選リーグの抽せんが行われた(2頁参照)。

昭和47年度

ハンドボール競技規則

1部 500円

機関誌「ハンドボール」を

個人購読なさいませんか

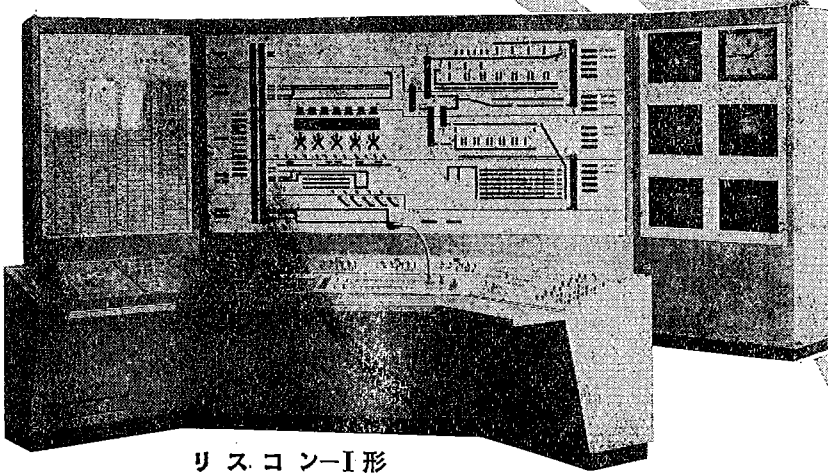
年間11回発行・1800円

★お申しこみは東京都渋谷区神南1の1の1日本ハンドボール協会へ★

Osaki

営業品目

普通電力計 電流制限器
 精密電力計 配線用遮断器
 誘導形自動電圧調整器 配電盤・分電盤 制御器
 静止形自動電圧調整器 試験用変圧器
 配電線事故捜査装置 各種開閉器・遮断器
 需要電力量速測定装置 数字式テスター・データロガー
 電力需給用計器用変成器 標準用計器用変成器



リスコン-I形



大崎電氣工業株式會社

本社及び 141 東京都品川区東五反田2の2の7 電話 (03)443-7171(大代表)
 五反田工場 電信略号 シナガワ」デンキ
 蒲田工場 144 東京都大田区多摩川2の8の1 電話 (03)759-6511(代表)
 埼玉工場 354 埼玉県入間郡三芳町藤久保58 電話 (0492) 58-1205(代表)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
海外トピックス

杉山 茂

東ドイツ、安定の攻守

〜カルパティア杯〜

第13回カルパティア・カップは3月4日から9日までブカレストに5ヶ国6チームが参加して行われた。

オリンピックの金メダル候補が揃った大会だけに多くの注目をあびたが東ドイツが安定した試合ぶり（昨秋来日）が持ちなおしてきている。

この大会は昨年11月に第12回大会を開いたばかり（本誌第93号参照、ユーゴ優勝）だが、ミュンヘンを控えて、このようなたてつけの開催になったようだ。

ユーゴ 23―12 ルーマニアB
チェコ 記録不明 スウェーデン
ルーマニア 24―17 ルーマニアB
スウェーデン 17―17 東ドイツ

ユーゴ	19―19	チェコ
東ドイツ	28―10	ルーマニアB
スウェーデン	14―13	ユーゴ
ルーマニア	12―9	チェコ
スウェーデン	14―10	ルーマニアB
ユーゴ	17―15	ルーマニア
東ドイツ	17―16	チェコ
東ドイツ	22―19	ユーゴ
ルーマニア	12―11	スウェーデン
チェコ	20―15	ルーマニアB
東ドイツ	13―12	ルーマニア

【順位】①東ドイツ4勝1分②ルーマニア3勝2敗③ユーゴ・スウェーデン・チェコ2勝2敗1分⑥ルーマニアB5敗

チェコ、地元で優勝

〜チエコ国際〜

チエコ国際トーナメントは3月31日から3日間プラハに4ヶ国が参加して行われ、地元チェコが3戦全勝で優勝した。

チェコ	24―19	デンマーク
ユーゴ	18―15	西ドイツ
ユーゴ	21―17	デンマーク
チェコ	18―17	西ドイツ
チェコ	19―17	ユーゴ
デンマーク	18―14	西ドイツ

キエフ、3連勝を目前

〜女子ヨーロッパ杯〜

第11回女子ヨーロッパカップトーナメントは終盤戦に入り4月上

旬の準決勝でスパルタク・キエフ（ソビエト）とSC・ライプチヒ（東ドイツの）決勝進出が決まった。

キエフはチエミスト・パコニイ（ハンガリー）、ライプチヒはブカレスト大学（ルーマニア）と顔を合せともに第1戦を落とす苦戦だった。

決勝戦は4月末チェコで行われる予定だがキエフが勝てば史上初の3連勝、ソビエト代表としては5連勝を飾ることになり、ライプチヒが勝てば第6回（一九六六）以来2度目の優勝となる。

▽準決勝第1戦

チエミスト	15―14	スパルタク
バカオニイ		キエフ（ソビエト）
（ハンガリー）		
ブカレスト	16―15	SC・ライプチヒ（東ドイツ）

▽同第2戦

スパルタク	11―9	チエミスト
キエフ		バカオニイ
SC・ライプチヒ	16―8	ブカレスト

世界軍隊選手権を計画

国際軍隊スポーツ連盟（CISM）では、このほど各国の軍隊ハンドボールチームによる世界選手権の開催を計画、国際ハンドボー

ル連盟（IHF）に対し規約の変更を求め、同選手権実施の場合、IHFの公認する大会となるよう働きかけることを明きらかにした。ヨーロッパでは軍隊選手権が各スポーツともなかなか盛んだが、世界選手権になると球技ではバスケットボールがある程度だ。IHFの「反応」はいまのところ伝えられていない。

仏選手権 昨秋10月から長期リ大詰へ1ヶ戦をつづけていたフランス選手権は大詰めを迎えこのほど女子の決勝戦が行われ、ペサカイ大学がASU・リヨンを12―6で破り優勝を飾った。

男子は決勝トーナメントにおなじみのステラのほかRP・ストラスボーグ、メッツ、パリ大学の4強が進出を決めた。決勝は6月上旬の予定。

世界中年大 国際シニアスポーツ協会は6月ロスアンゼルスで第3回世界中年（35才以上の男女）スポーツ選手権をハンドボールなど22競技にわたって行うと発表、日本協会でもこの大会に関心を示していたがこのほど日本体育協会へ届いた要綱によるとこの大会で実施されるハンドボールは個人種目のいわゆるウォール（Wall）ハンドボールであることが判った。

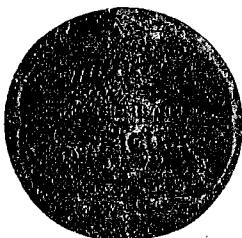
ミカドハンドボール



日本ハンドボール協会公認球

ミカド商会

東京・豊島・巣鴨・7丁目1696
TEL (941) 2635・6592



読者投書欄 明日への提言

残念だったラフプレー 大阪の日独戦

4月8日大阪で行われたダンケルセンと全日本の試合は、全日本の成長いちじるしいプレーが優り快勝、大いに気をよくしたのだが心残りに思ったのは両軍選手がかなりエキサイトして乱暴なゲームとなったことだ。

翌日の新聞でダンケルセン側が「日本の審判員は不公平だ」といっているのを見ていっそう残念で日独交流に汚点をしるしたのは問題だと思ふ。

スタンドから見ている感じではどうもその日の両審判員が反則をとるのを遠慮していたよう言葉もあまり通じないみたいであった。反則への判定は甘くては荒っぽい試合になるのは当然なこと、それが昂じてダンケルセンの感情的な発言になったのではないか。

また、これも新聞で読んだことだが全日本のコーチが「外国ではこの程度のラフプレーはしじゆろ」と云っていた。ハンドボール愛好者の大半は高校生なのだから不隠当な発言や誤解を招く意見は述べないほうがよいと思う。時を同じくしてオーストラリアのラダビーチーム(コルツ)の粗暴な試合ぶりが問題となっていただけに

スポーツというものがラフなものという印象を一般にうえつけないためにもプレイヤーはフェアをつねに心がけて欲しい。

それと審判技術のいっそうのレベルアップを望むものだ【神戸市 斎藤哲哉・予備校生】

登録料に段階制を

日本協会は登録料の値上げを行った。私の周囲ではこれによって一般チームの登録は減るだろうから日本協会の台所はそうプラスにならないのではないかと、という声強い。日本協会役員が、底辺の実情を知らず今回の増額を決めたのだとしたら問題である。

ハンドボールを愛する者として日本協会がオリンピック一辺倒となり頂点偏重施策となることに私は特に不満はない。高い所での活躍がそのスポーツを発展させるからだ。

しかし登録料などというものは充分一般の状況をリサーチして決めて欲しい。現行の登録料制度は日本協会の破たんになれこそすれ繁栄にはつながらない。

少くとも一般はA、B、Cランクぐらいに段階をつけるべきだ。

【東京・青山 誠・28才】

何故出ない全日本：NHK杯

今年のNHK杯に男子ナショナルチームは出ないそうである。去年はともかく今年こそナショナルは出るべきではなかったのか。

オリンピック代表あるいは候補はおそらく自分の所属チームから登場するのだろうが、NHK杯からオリンピックまで二ヶ月しか残されていない。

オリンピックイヤーでもない年には出場規制などを布きながら大事な年に逆の方向をとるとはどんな理由があるのだろうか。

去年の大会で勝敗的な興味はなかったために「改善」したのかも知れないが、今年はどうなるに差がついてもファンは怒らなかつたはず。

こんなところにも、日本協会の長期的な展望の欠如を感じるのである。また、NHK杯の大会性格をこの際はっきり示すべきではなからうか。

【東京・植田修司・会社員】

読者による投書欄を復活いたしました。日本ハンドボール界への建設的な意見をどしどしお寄せ下さい。字数は500字以内。用紙自由。匿名を認めますが原稿の末尾には必ず住所、氏名、年令または職業をお書き下さい。



千代田印刷機製造株式会社

東京都千代田区猿楽町1-5-18

TEL 03-292-2011代

- 支社 横浜、千葉、福岡
- 工場 立川、九州
- 出張所 大阪、宇都宮

スポーツ審判ハンドブック

編集 日本体育大学教授 佐々木吉蔵 東海大学教授 西山常夫 日本大学助教授 永嶋正俊 東京大学助教授 豊田 博

●スポーツの審判技術とルールを網羅した

試合を裁く審判は十分な審判技術を身につけ、公平・厳密・的確に試合を進行させなければならない。本書は24種目のスポーツのルールと審判の技術を事典形式で解説し、ゲームの進行に沿って具体的にジャッジできるよう、初歩から第一線級の審判技術を網羅した。校内競技大会の審判にも十分役に立ち、体育・スポーツ関係者のみならず、プレーヤーにも必携のハンドブックである。

菊判・八二四頁・上製函入 ¥2800

構成・内容

【総論】審判に関する基本的事項・及各種目に共通する一般的事項

【各論】各スポーツ種目の審判法を競技に即して具体的に記述

I 序論 スポーツ種目の特性から生ずる審判に関する基本的事項 ①種目特有の審判概論 ②審判の構成と任務 ③審判のセスチュア ④審判の服装 ⑤競技時間など

II 試合前の審判員の任務 試合前に、審判が心がけ、準備すべきものを具体的な形で記述。

III 試合の進行 各競技種目の審判法を競技の特性をおいながら、プレーとルールを関連させて解説

IV 試合終了後の審判の任務 試合終了後に審判がしなければならない事らを記述。

V 付録 ①審判員制度の紹介 ②重要な審判技術および知識の理解に役立つよう設問を付し解答を与える。

種目

バレーボール／バスケットボール／ハンドボール／サッカー／ラグビー／野球／ソフトボール／テニス／卓球／バドミントン／アイスホッケー／陸上競技／水泳（競泳・飛込）／水球／体操／スキー／スケート／柔道／剣道／すもう／レスリング／ボクシング／弓道／なぎなた

東京・神田錦町3-24

大修館書店

振替／東京40504

〈内容見本呈〉

'72



洋装服飾専門商社(株)三景・東京都千代田区岩本町3-2-10 〒101

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』

第九十七号

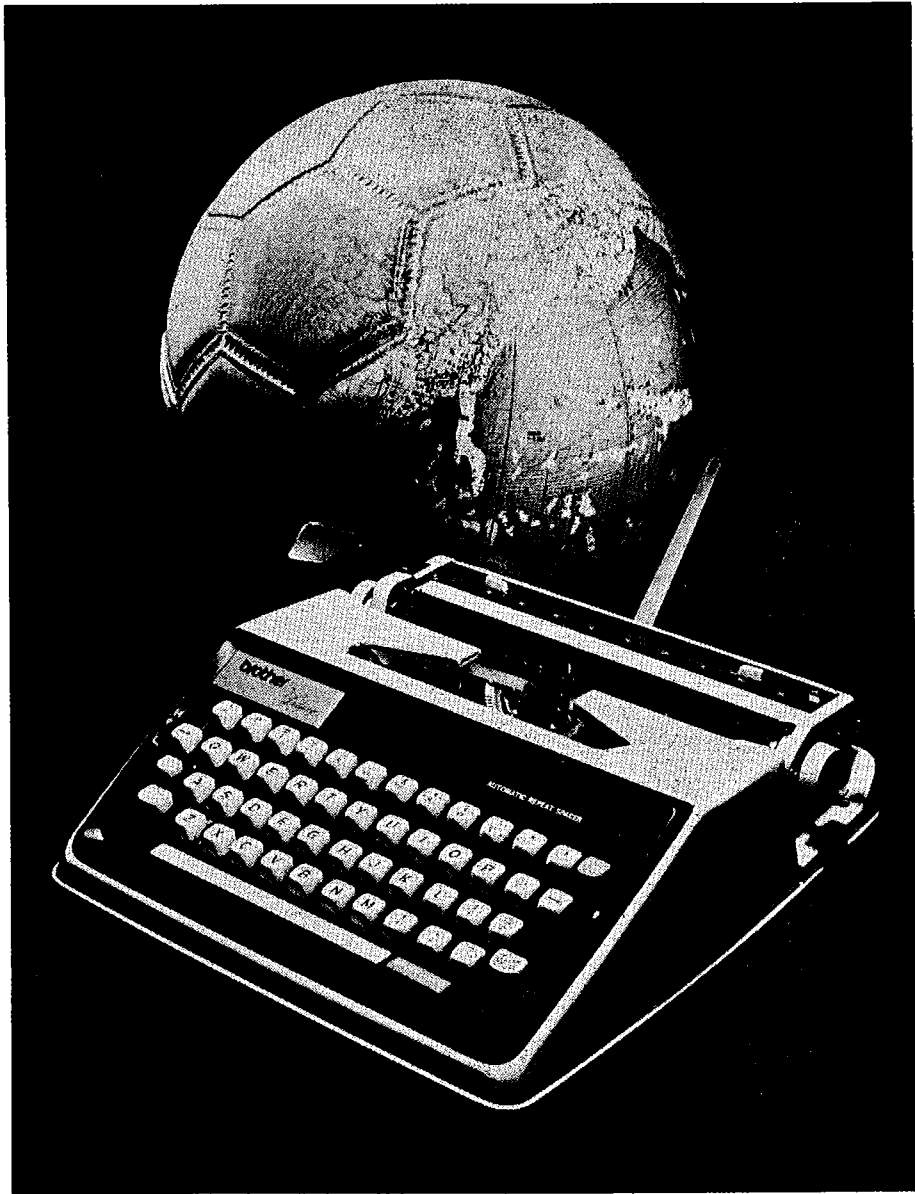
昭和四十年六月七日
第三種郵便物認可

昭和四十七年 四月二十五日印刷 発行所
昭和四十七年 五月一日発行 日本ハンドボール協会

東京都渋谷区神南一丁目一三三番
電話 大代表 (46) 三三二一
振替 東京五八三四八番

編集兼 保坂周助
発行人

定価 二百円
年間購読料 千八百円



世界じゅうのタイプライターの
うち、10台に1台はブラザー製
110カ国に輸出されています。



ブラザー工業株式会社
ブラザーミシン販売株式会社
本社 名古屋市瑞穂区堀田通9の35
TEL 大代表 (811) 2511

スポーツに国境がないように
世界で愛されるブラザータイプライター